

# 平成27年度国民経済計算年次推計(平成23年基準改定値) (フロー編) ポイント

1. 平成23年基準改定の概略	・・・・・・・・P 2
2. 支出	・・・・・・・・P 3
3. 所得	・・・・・・・・P 9
4. 生産	・・・・・・・・P19
5. 純貸出(+)/純借入(-)	・・・・・・・・P21
6. プライマリーバランス	・・・・・・・・P25
7. 一人当たり名目GDP、名目GNI、国民所得	・・・・・・・・P28
8. GDPの国際比較	・・・・・・・・P29

経済社会総合研究所



Economic and Social  
Research Institute

平成28年12月22日  
内閣府経済社会総合研究所  
国民経済計算部



(注1) 今般公表される計数表は、内閣府経済社会総合研究所ホームページ (<http://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>) に掲載。  
(注2) 「2. 支出」及び「3. 所得」の(1)国内総所得(GDI)、国民総所得(GNI)は、平成28年12月8日に公表済の計数。

# 1. 平成23年基準改定の概略

- ① 最新の「平成23年産業連関表」(平成27年6月に確報公表)を取り込み、デフレーター=100とする基準年を現行の平成17(2005)年から平成23(2011)年に変更

\*このほか約5年毎の詳細な基礎統計として「国勢統計」、「住宅・土地統計」等も反映。

- ② 加えて、国際連合で加盟国合意の下採択された国民経済計算の最新の国際基準である「2008SNA」(研究・開発(R&D)の資本化等)に対応

\*統計法(平成19年法律第53号)第6条では、国民経済計算について、国際連合の定める国際基準に準拠するものと規定されている。

\*\*国際基準である「1993SNA」には、平成12(2000)年に実施された「平成7年基準改定」で対応

- ③ また、各種の概念・定義の変更や推計手法の開発等も実施

- 国際比較可能性を踏まえた経済活動別分類の変更(サービス業の詳細化等)
- 供給・使用表(SUT)の枠組みを活用した新たな推計手法
- 建設部門の産出額の新たな推計手法 等

- ④ 平成6(1994)年に遡って20年超の系列を再推計・公表

\* 通常の基準改定時には、一般的に過去10年程度を遡及

(注) 詳細については、「国民経済計算の平成23年基準改定に向けて」(平成28年9月15日)、季刊国民経済計算 No.161掲載予定論文「国民経済計算の平成23年基準改定の概要について」(平成28年9月30日)、「2008SNAに対応した我が国国民経済計算について(平成23年基準版)」(平成28年11月30日)、「平成27年度国民経済計算年次推計(平成23年基準改定値)」に係る利用上の注意について」(平成28年11月30日)等を参照。

## 2. 支出

平成27年度の名目国内総生産（GDP）（支出側）は前年度比2.8%増と4年連続のプラスとなった。  
実質国内総生産（GDP）（支出側）については、前年度比1.3%増と2年ぶりのプラスとなった。

	平成 7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	
名目GDP（支出側）	(兆円)	516.7	528.7	533.1	526.1	522.0	528.6	518.9	514.7	518.2	521.0
名目GDP（支出側）	(前年度比、%)	2.9	2.3	0.8	-1.3	-0.8	1.3	-1.8	-0.8	0.7	0.5
GDPデフレーター	(前年度比、%)	-0.6	-0.4	0.8	-0.5	-1.5	-1.2	-1.2	-1.7	-1.4	-1.0
実質GDP（支出側）	(前年度比、%)	3.5	2.7	0.0	-0.8	0.7	2.5	-0.6	0.9	2.1	1.5
国内需要	(前年度比、%)	4.2	2.9	-1.0	-1.0	0.6	2.4	-0.1	0.1	1.2	1.0
	(寄与度、%)	4.1	2.8	-1.0	-1.0	0.6	2.4	-0.1	0.1	1.2	1.0
民間需要	(前年度比、%)	4.1	3.6	-0.8	-1.9	0.1	3.2	-0.4	0.1	1.8	1.8
	(寄与度、%)	3.0	2.7	-0.6	-1.5	0.1	2.4	-0.3	0.1	1.4	1.3
民間最終消費支出	(前年度比、%)	2.8	2.2	-1.0	0.5	1.5	1.4	1.7	1.2	0.9	0.9
	(寄与度、%)	1.5	1.2	-0.5	0.3	0.8	0.8	0.9	0.7	0.5	0.5
家計最終消費支出	(前年度比、%)	2.8	2.2	-1.0	0.2	1.3	1.7	1.6	1.3	0.8	0.9
	(寄与度、%)	1.5	1.2	-0.5	0.1	0.7	0.9	0.9	0.7	0.4	0.5
民間住宅	(前年度比、%)	-5.7	12.6	-18.1	-10.0	3.2	-0.5	-6.6	-1.8	-0.3	1.6
	(寄与度、%)	-0.3	0.6	-1.0	-0.4	0.1	-0.0	-0.3	-0.1	-0.0	0.1
民間企業設備	(前年度比、%)	9.0	5.5	3.0	-3.5	-1.5	6.3	-4.2	-3.2	3.6	4.3
	(寄与度、%)	1.4	0.9	0.5	-0.6	-0.2	1.0	-0.7	-0.5	0.5	0.6
民間在庫変動	(寄与度、%)	0.4	0.0	0.4	-0.7	-0.6	0.7	-0.3	-0.0	0.4	0.1
公的需要	(前年度比、%)	4.6	0.6	-1.7	1.8	2.2	0.0	0.8	0.1	-0.6	-1.3
	(寄与度、%)	1.1	0.2	-0.4	0.4	0.6	0.0	0.2	0.0	-0.2	-0.3
政府最終消費支出	(前年度比、%)	3.4	2.1	1.1	1.9	3.6	3.6	3.7	2.0	2.0	0.9
	(寄与度、%)	0.5	0.3	0.2	0.3	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.2
公的固定資本形成	(前年度比、%)	7.1	-1.6	-6.6	2.2	-0.6	-7.3	-5.4	-4.8	-7.4	-8.2
	(寄与度、%)	0.6	-0.1	-0.6	0.2	-0.1	-0.6	-0.4	-0.3	-0.5	-0.5
公的在庫変動	(寄与度、%)	-0.0	-0.0	0.0	-0.1	0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	0.0
財貨・サービスの純輸出	(寄与度、%)	-0.7	-0.1	1.1	0.2	0.1	0.1	-0.5	0.8	0.9	0.5
財貨・サービスの輸出	(前年度比、%)	4.2	6.5	8.9	-3.8	6.0	9.5	-7.7	12.1	9.9	11.7
	(寄与度、%)	0.4	0.6	0.9	-0.4	0.6	1.0	-0.8	1.2	1.1	1.4
財貨・サービスの輸入	(前年度比、%)	14.4	8.5	-2.1	-6.5	6.6	10.0	-3.3	4.7	2.3	8.7
	(寄与度、%)	-1.0	-0.7	0.2	0.6	-0.6	-0.9	0.3	-0.4	-0.2	-0.9

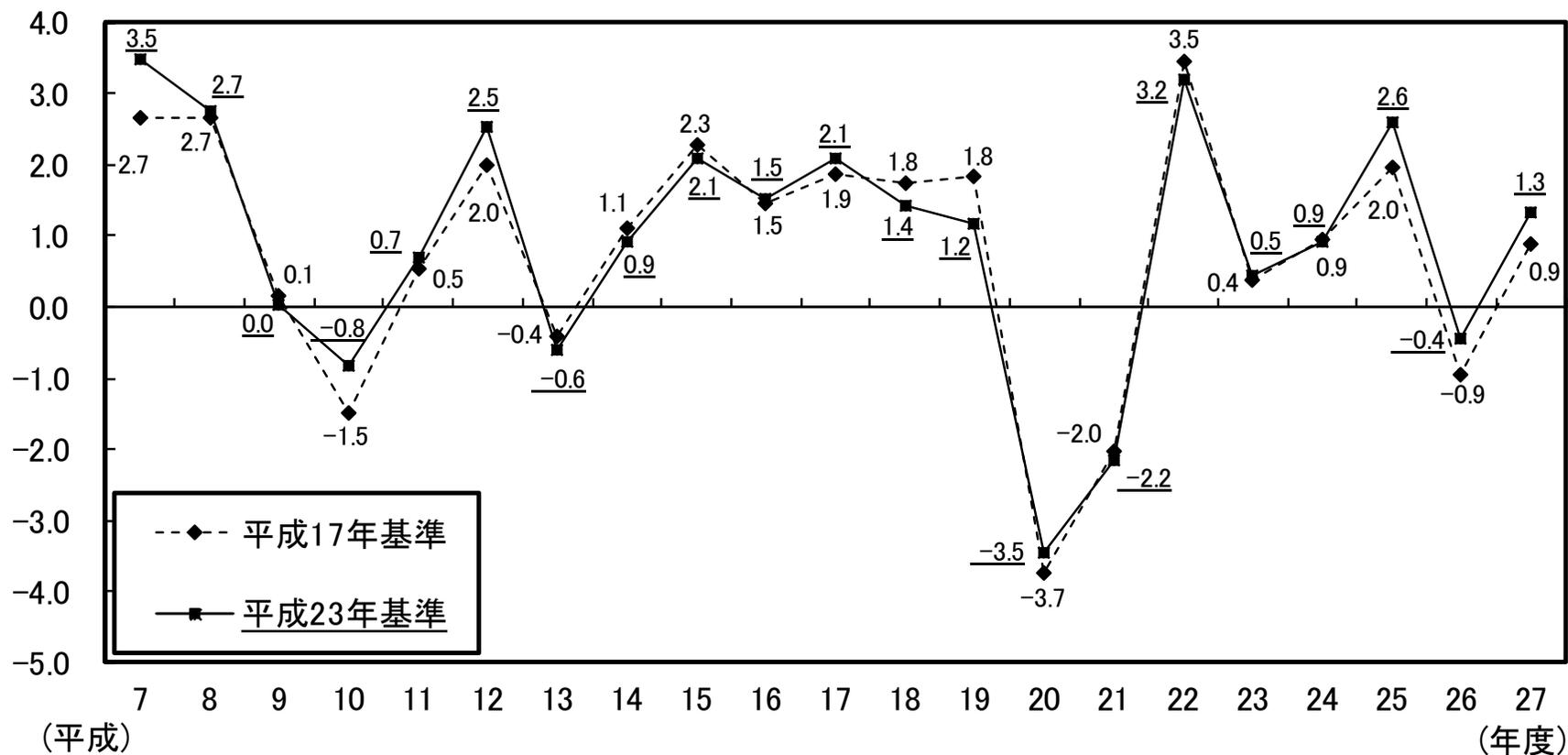
(注) 寄与度は、実質GDP（支出側）成長率に対する寄与度。

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度 構成比(%)
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
名目GDP(支出側) (兆円)	525.8	529.3	531.0	509.4	492.1	499.2	493.9	494.7	507.4	517.9	532.2	
名目GDP(支出側) (前年度比、%)	0.9	0.7	0.3	-4.1	-3.4	1.4	-1.1	0.2	2.6	2.1	2.8	
GDPデフレーター (前年度比、%)	-1.1	-0.7	-0.8	-0.6	-1.3	-1.7	-1.5	-0.8	-0.0	2.5	1.4	
実質GDP(支出側) (前年度比、%)	2.1	1.4	1.2	-3.5	-2.2	3.2	0.5	0.9	2.6	-0.4	1.3	100.0
国内需要 (前年度比、%)	1.6	0.6	0.0	-2.4	-2.4	2.4	1.4	1.7	3.1	-1.0	1.1	100.0
(寄与度、%)	1.5	0.6	0.0	-2.4	-2.4	2.4	1.4	1.8	3.2	-1.1	1.1	
民間需要 (前年度比、%)	2.6	1.2	-0.0	-2.8	-4.5	3.2	1.5	1.9	3.1	-1.4	1.1	75.0
(寄与度、%)	1.9	0.9	-0.0	-2.1	-3.4	2.3	1.1	1.4	2.4	-1.0	0.8	
民間最終消費支出 (前年度比、%)	1.8	0.7	0.8	-2.1	1.0	1.3	0.8	1.8	2.7	-2.7	0.5	56.3
(寄与度、%)	1.0	0.4	0.4	-1.1	0.5	0.7	0.4	1.1	1.6	-1.6	0.3	
家計最終消費支出 (前年度比、%)	1.7	0.7	0.9	-2.1	0.9	1.2	0.5	1.7	2.7	-2.6	0.3	54.9
(寄与度、%)	0.9	0.4	0.5	-1.1	0.5	0.7	0.3	0.9	1.6	-1.5	0.2	
民間住宅 (前年度比、%)	-0.4	0.3	-14.1	-1.5	-20.3	2.5	2.9	5.1	8.3	-9.9	2.7	3.0
(寄与度、%)	-0.0	0.0	-0.5	-0.0	-0.7	0.1	0.1	0.1	0.3	-0.3	0.1	
民間企業設備 (前年度比、%)	7.6	2.6	-0.7	-6.0	-11.9	2.3	4.2	2.4	7.0	2.5	0.6	15.3
(寄与度、%)	1.1	0.4	-0.1	-0.9	-1.8	0.3	0.6	0.3	1.0	0.4	0.1	
民間在庫変動 (寄与度、%)	-0.2	0.1	0.2	0.1	-1.4	1.2	0.0	-0.1	-0.5	0.5	0.4	0.5
公的需要 (前年度比、%)	-1.6	-1.2	0.2	-1.4	4.1	0.1	1.1	1.3	3.1	-0.1	1.2	24.9
(寄与度、%)	-0.4	-0.3	0.0	-0.3	1.0	0.0	0.3	0.3	0.8	-0.0	0.3	
政府最終消費支出 (前年度比、%)	0.4	0.4	1.3	-0.6	2.8	2.1	1.7	1.3	1.7	0.4	2.0	19.9
(寄与度、%)	0.1	0.1	0.2	-0.1	0.5	0.4	0.3	0.3	0.4	0.1	0.4	
公的固定資本形成 (前年度比、%)	-7.8	-6.4	-4.2	-4.1	9.4	-7.1	-1.9	1.3	8.6	-2.1	-2.0	5.0
(寄与度、%)	-0.4	-0.3	-0.2	-0.2	0.5	-0.4	-0.1	0.1	0.4	-0.1	-0.1	
公的在庫変動 (寄与度、%)	0.0	-0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.0	0.0
財貨・サービスの純輸出 (寄与度、%)	0.6	0.8	1.2	-1.1	0.3	0.9	-1.0	-0.8	-0.5	0.6	0.2	0.0
財貨・サービスの輸出 (前年度比、%)	9.5	8.7	9.5	-10.2	-9.0	17.9	-1.6	-1.6	4.4	8.7	0.8	17.2
(寄与度、%)	1.2	1.3	1.5	-1.8	-1.4	2.4	-0.2	-0.2	0.7	1.4	0.1	
財貨・サービスの輸入 (前年度比、%)	6.2	3.6	2.4	-4.4	-10.7	12.1	5.2	3.8	7.1	4.1	-0.2	17.2
(寄与度、%)	-0.7	-0.5	-0.4	0.7	1.7	-1.5	-0.7	-0.6	-1.2	-0.8	0.0	

(注) 寄与度は、実質GDP(支出側)成長率に対する寄与度。

## 図2-1 実質GDP成長率の改定状況

(前年度比、%)



(前年度比、%)

年度 (平成)	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
平成23年基準	3.5	2.7	0.0	-0.8	0.7	2.5	-0.6	0.9	2.1	1.5	2.1	1.4	1.2	-3.5	-2.2	3.2	0.5	0.9	2.6	-0.4	1.3
平成17年基準	2.7	2.7	0.1	-1.5	0.5	2.0	-0.4	1.1	2.3	1.5	1.9	1.8	1.8	-3.7	-2.0	3.5	0.4	0.9	2.0	-0.9	0.9
差	0.8	0.1	-0.1	0.7	0.1	0.5	-0.2	-0.2	-0.2	0.1	0.2	-0.3	-0.7	0.3	-0.1	-0.3	0.1	-0.0	0.6	0.5	0.5

図 2 - 2 名目GDP(実額)の改定状況

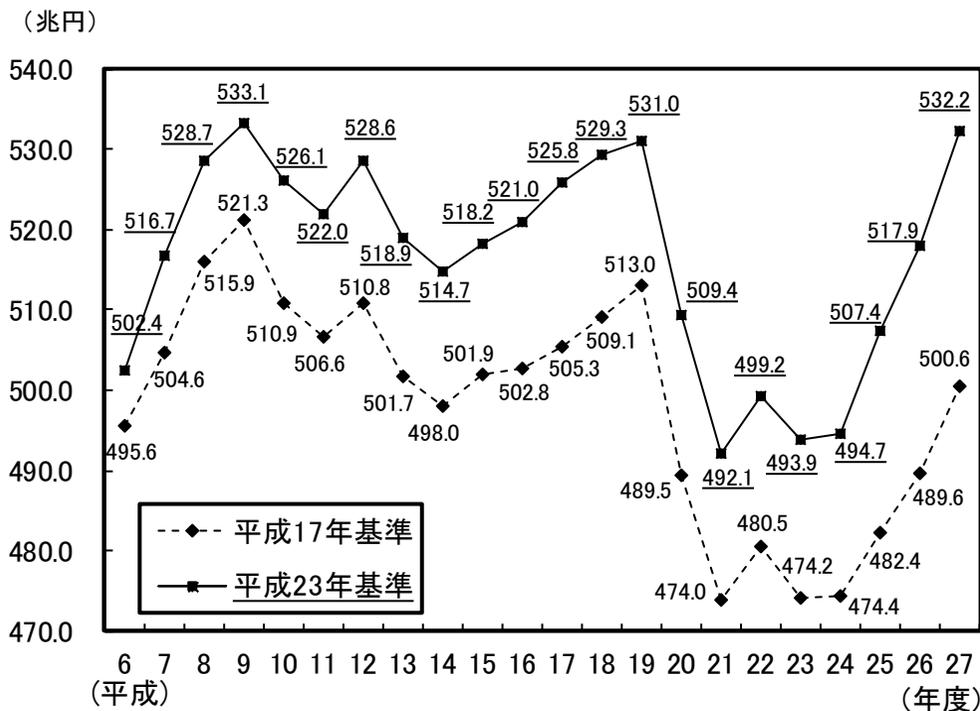
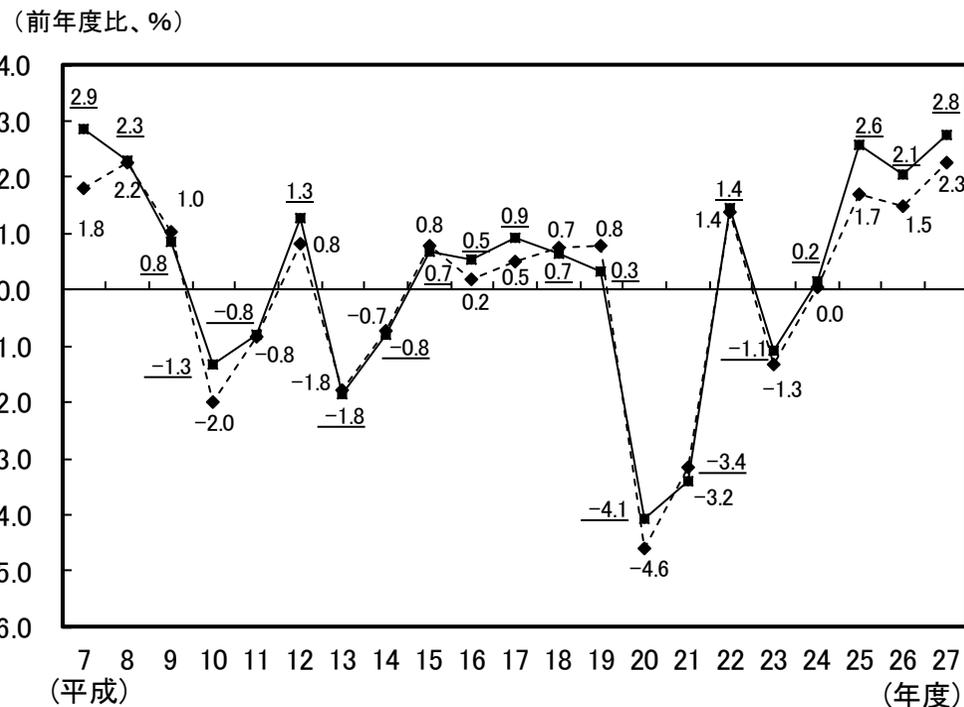


図 2 - 3 名目GDP成長率の改定状況



名目GDP(実額)

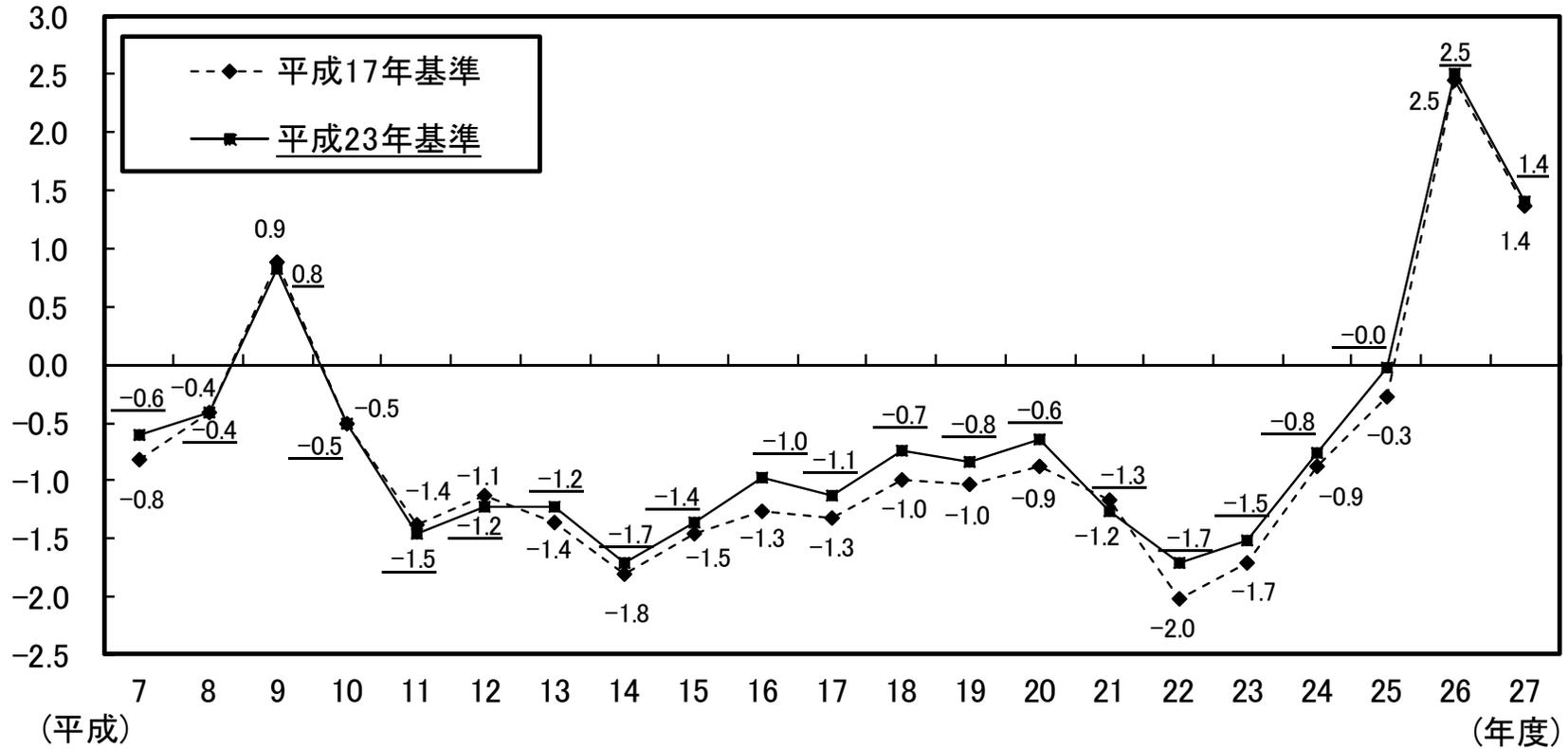
年度 (平成)	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
平成23年基準	502.4	516.7	528.7	533.1	526.1	522.0	528.6	518.9	514.7	518.2	521.0	525.8	529.3	531.0	509.4	492.1	499.2	493.9	494.7	507.4	517.9	532.2
平成17年基準	495.6	504.6	515.9	521.3	510.9	506.6	510.8	501.7	498.0	501.9	502.8	505.3	509.1	513.0	489.5	474.0	480.5	474.2	474.4	482.4	489.6	500.6
差	6.8	12.1	12.7	11.9	15.2	15.4	17.8	17.2	16.7	16.3	18.2	20.5	20.1	18.0	19.9	18.1	18.7	19.7	20.3	25.0	28.3	31.6

名目GDP成長率

年度 (平成)	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
平成23年基準	-	2.9	2.3	0.8	-1.3	-0.8	1.3	-1.8	-0.8	0.7	0.5	0.9	0.7	0.3	-4.1	-3.4	1.4	-1.1	0.2	2.6	2.1	2.8
平成17年基準	-	1.8	2.2	1.0	-2.0	-0.8	0.8	-1.8	-0.7	0.8	0.2	0.5	0.7	0.8	-4.6	-3.2	1.4	-1.3	0.0	1.7	1.5	2.3
差	-	1.0	0.1	-0.2	0.7	0.1	0.4	-0.1	-0.1	-0.1	0.4	0.4	-0.1	-0.4	0.5	-0.2	0.1	0.3	0.1	0.9	0.6	0.5

図2-4 GDPデフレーターの変動状況

(前年度比、%)



(前年度比、%)

年度 (平成)	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
平成23年基準	-0.6	-0.4	0.8	-0.5	-1.5	-1.2	-1.2	-1.7	-1.4	-1.0	-1.1	-0.7	-0.8	-0.6	-1.3	-1.7	-1.5	-0.8	-0.0	2.5	1.4
平成17年基準	-0.8	-0.4	0.9	-0.5	-1.4	-1.1	-1.4	-1.8	-1.5	-1.3	-1.3	-1.0	-1.0	-0.9	-1.2	-2.0	-1.7	-0.9	-0.3	2.5	1.4
差	0.2	-0.0	-0.1	0.0	-0.1	-0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	-0.1	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0

## 名目GDP(実額)の改定要因について

(兆円)

年度(平成)	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004
名目GDP(平成23年基準)	502.4	516.7	528.7	533.1	526.1	522.0	528.6	518.9	514.7	518.2	521.0
名目GDP(平成17年基準)	495.6	504.6	515.9	521.3	510.9	506.6	510.8	501.7	498.0	501.9	502.8
改定幅	6.8	12.1	12.7	11.9	15.2	15.4	17.8	17.2	16.7	16.3	18.2
2008SNA対応	14.6	15.1	16.0	16.9	17.1	17.0	17.3	17.4	17.9	18.1	18.6
研究・開発(R&D)の資本化	13.0	13.5	14.2	14.9	15.2	15.1	15.3	15.4	15.6	15.7	16.0
市場生産者分	10.7	11.1	11.7	12.3	12.5	12.2	12.3	12.4	12.5	12.6	12.8
非市場生産者分	2.3	2.4	2.5	2.6	2.8	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	3.2
特許等サービスの扱いの変更	-0.3	-0.3	-0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.4	0.5	0.7
防衛装備品の資本化	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
所有権移転費用の取扱い精緻化	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1
中央銀行の産出額の明確化	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他	-7.8	-3.0	-3.3	-5.0	-1.9	-1.6	0.5	-0.2	-1.2	-1.8	-0.3

年度(平成)	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010	23年 2011	24年 2012	25年 2013	26年 2014	27年 2015
名目GDP(平成23年基準)	525.8	529.3	531.0	509.4	492.1	499.2	493.9	494.7	507.4	517.9	532.2
名目GDP(平成17年基準)	505.3	509.1	513.0	489.5	474.0	480.5	474.2	474.4	482.4	489.6	500.6
改定幅	20.5	20.1	18.0	19.9	18.1	18.7	19.7	20.3	25.0	28.3	31.6
2008SNA対応	19.8	20.7	21.4	21.1	19.2	19.4	19.8	19.6	21.0	23.0	24.1
研究・開発(R&D)の資本化	16.9	17.7	18.3	18.1	16.4	16.4	16.6	16.6	17.3	18.5	19.2
市場生産者分	13.6	14.3	14.9	14.7	13.1	13.1	13.3	13.3	14.0	15.1	15.8
非市場生産者分	3.3	3.3	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4
特許等サービスの扱いの変更	0.9	1.1	1.3	1.2	1.1	1.3	1.5	1.4	2.1	2.8	3.1
防衛装備品の資本化	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
所有権移転費用の取扱い精緻化	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	1.0	0.9
中央銀行の産出額の明確化	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他	0.7	-0.6	-3.4	-1.2	-1.1	-0.8	-0.1	0.6	4.0	5.3	7.5

### 3. 所得

#### (1) 国内総所得 (GDI)、国民総所得 (GNI)

実質GDPに交易利得・損失（注1）を加えた実質GDIは、平成27年度は実質GDPの増加や交易条件の改善により、前年度比2.7%増と2年ぶりの増加となった。また、実質GDIに海外からの所得の純受取（注2）を加えた実質GNIは、前年度比2.7%増と4年連続の増加となった。

（注1） 交易利得・損失＝交易条件の変化に伴う実質所得（購買力）の変化

（注2） 海外からの所得の純受取＝海外からの所得の受取－海外に対する所得の支払

		平成 7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	
		1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	
実質GNI	(兆円)	467.0	479.0	479.4	475.5	479.1	491.8	488.1	492.2	503.1	510.9	
	(前年度比、%)	3.9	2.6	0.1	-0.8	0.8	2.6	-0.7	0.8	2.2	1.5	
	実質GDI	(兆円)	462.6	473.0	473.2	470.1	473.0	484.4	480.7	485.3	494.9	501.1
		(前年度比、%)	3.8	2.3	0.0	-0.6	0.6	2.4	-0.8	1.0	2.0	1.2
		(寄与度、%)	3.7	2.2	0.0	-0.6	0.6	2.4	-0.7	1.0	1.9	1.2
	実質GDP	(兆円)	441.4	453.5	453.6	449.9	452.9	464.3	461.5	465.7	475.4	482.6
		(前年度比、%)	3.5	2.7	0.0	-0.8	0.7	2.5	-0.6	0.9	2.1	1.5
		(寄与度、%)	3.3	2.6	0.0	-0.8	0.6	2.4	-0.6	0.9	2.0	1.4
	交易利得・損失	(兆円)	21.2	19.5	19.6	20.3	20.1	20.0	19.2	19.6	19.5	18.4
		(寄与度、%)	0.4	-0.4	0.0	0.1	-0.0	-0.0	-0.2	0.1	-0.0	-0.2
海外からの所得の純受取	(兆円)	4.4	5.9	6.2	5.4	6.1	7.4	7.4	6.9	8.3	9.8	
	(寄与度、%)	0.1	0.3	0.1	-0.2	0.1	0.3	0.0	-0.1	0.3	0.3	

		平成 7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
		1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
名目GNI	(兆円)	521.6	535.2	540.0	532.0	528.6	536.6	526.8	521.9	526.7	531.1
	(前年度比、%)	3.0	2.6	0.9	-1.5	-0.6	1.5	-1.8	-0.9	0.9	0.8
名目GDP	(兆円)	516.7	528.7	533.1	526.1	522.0	528.6	518.9	514.7	518.2	521.0
	(兆円)	4.9	6.5	6.9	5.9	6.6	8.0	7.9	7.2	8.5	10.1

（注） 寄与度は、実質GNI成長率に対する寄与度。実質の実額は平成23暦年価格。

(1) 国内総所得 (GDI)、国民総所得 (GNI) (続き)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
実質GNI	(兆円)	519.0	525.2	528.2	502.9	497.4	510.8	507.7	512.6	528.1	529.1	543.3	
	(前年度比、%)	1.6	1.2	0.6	-4.8	-1.1	2.7	-0.6	1.0	3.0	0.2	2.7	
	実質GDI	(兆円)	506.9	511.0	512.7	491.1	485.2	497.5	494.1	498.7	510.5	510.0	523.7
		(前年度比、%)	1.2	0.8	0.3	-4.2	-1.2	2.5	-0.7	0.9	2.4	-0.1	2.7
		(寄与度、%)	1.1	0.8	0.3	-4.1	-1.2	2.5	-0.7	0.9	2.3	-0.1	2.6
	実質GDP	(兆円)	492.7	499.6	505.5	488.0	477.5	492.8	495.1	499.6	512.7	510.4	517.2
		(前年度比、%)	2.1	1.4	1.2	-3.5	-2.2	3.2	0.5	0.9	2.6	-0.4	1.3
		(寄与度、%)	2.0	1.3	1.1	-3.3	-2.1	3.1	0.4	0.9	2.5	-0.4	1.3
	交易利得・損失	(兆円)	14.2	11.4	7.2	3.1	7.7	4.7	-1.0	-0.9	-2.1	-0.4	6.5
		(寄与度、%)	-0.8	-0.6	-0.8	-0.8	0.9	-0.6	-1.1	0.0	-0.2	0.3	1.3
海外からの所得の純受取	(兆円)	12.1	14.2	15.5	11.8	12.2	13.3	13.6	13.9	17.5	19.0	19.6	
	(寄与度、%)	0.4	0.4	0.3	-0.7	0.1	0.2	0.1	0.0	0.7	0.3	0.1	

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
名目GNI	(兆円)	538.2	543.8	547.0	521.5	504.4	512.4	507.5	508.4	524.9	537.2	552.1
	(前年度比、%)	1.3	1.0	0.6	-4.7	-3.3	1.6	-1.0	0.2	3.2	2.4	2.8
名目GDP	(兆円)	525.8	529.3	531.0	509.4	492.1	499.2	493.9	494.7	507.4	517.9	532.2
海外からの所得の純受取	(兆円)	12.4	14.6	16.0	12.1	12.3	13.3	13.6	13.7	17.4	19.3	19.9

(注) 寄与度は、実質GNI成長率に対する寄与度。実質の実額は平成23暦年価格。

## (2) 国民所得

平成27年度の国民所得（要素費用表示）(注)は前年度比2.7%増と4年連続の増加となった。内訳についてみると、雇用者報酬が前年度比1.5%増と3年連続で増加、財産所得が前年度比4.7%増と4年連続の増加、企業所得が前年度比5.4%増と2年ぶりの増加となった。

労働分配率（国民所得に占める雇用者報酬の比率）は67.8%と2年ぶりに低下した。なお、法人企業所得（配当等の支払い前の法人企業の所得）は前年度比8.9%増と4年連続の増加となった。

(注) 国民所得(要素費用表示)は名目。

		平成 6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
		1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
国民所得（要素費用表示）	(兆円)	368.4	378.5	391.4	388.5	378.2	377.0	386.0	374.3	372.6	378.0	382.7
	(前年度比、%)	-	2.7	3.4	-0.7	-2.6	-0.3	2.4	-3.0	-0.4	1.4	1.3
雇用者報酬	(兆円)	262.3	266.6	272.5	278.5	272.9	268.7	270.3	264.3	256.4	253.1	254.0
	(前年度比、%)	-	1.6	2.2	2.2	-2.0	-1.5	0.6	-2.2	-3.0	-1.3	0.3
	(寄与度、%)	-	1.2	1.5	1.6	-1.5	-1.1	0.4	-1.6	-2.1	-0.9	0.2
	(構成比、%) = 労働分配率	71.2	70.4	69.6	71.7	72.1	71.3	70.0	70.6	68.8	67.0	66.4
財産所得	(兆円)	41.2	37.3	33.9	32.6	29.7	26.7	25.7	21.7	20.5	19.9	20.0
	(前年度比、%)	-	-9.5	-9.3	-3.7	-8.9	-10.1	-3.7	-15.5	-5.8	-2.8	0.6
	(寄与度、%)	-	-1.1	-0.9	-0.3	-0.7	-0.8	-0.3	-1.0	-0.3	-0.2	0.0
	(構成比、%)	11.2	9.9	8.7	8.4	7.9	7.1	6.7	5.8	5.5	5.3	5.2
企業所得	(兆円)	64.8	74.6	85.0	77.3	75.6	81.5	89.9	88.3	95.8	104.9	108.7
	(前年度比、%)	-	15.0	14.0	-9.1	-2.2	7.8	10.3	-1.8	8.5	9.6	3.6
	(寄与度、%)	-	2.6	2.8	-2.0	-0.4	1.6	2.2	-0.4	2.0	2.5	1.0
	(構成比、%)	17.6	19.7	21.7	19.9	20.0	21.6	23.3	23.6	25.7	27.8	28.4
(参考) 法人企業所得	(兆円)	33.6	44.0	53.7	44.2	43.1	46.3	57.3	53.3	60.5	69.7	76.0
	(前年度比、%)	-	30.8	22.1	-17.6	-2.5	7.5	23.7	-6.9	13.5	15.1	9.1

(注1) 財産所得は、一般政府、家計（個人企業及び持ち家の支払利子、支払賃貸料を除く）及び対家計民間非営利団体の財産所得の純受取。企業所得は、民間法人企業、公的企業及び個人企業の営業余剰・混合所得に財産所得の純受取（ただし、個人企業及び持ち家については支払利子、支払賃貸料のみ）を加えたものであり、企業部門の「第1次所得バランス」を指す。

(注2) (参考) 法人企業所得は、非金融法人企業、金融機関について、営業余剰（純）に財産所得の受取を加え、利子、その他の投資所得、賃貸料の支払を控除したものの。

(注3) 寄与度は、国民所得（要素費用表示）伸び率に対する寄与度。

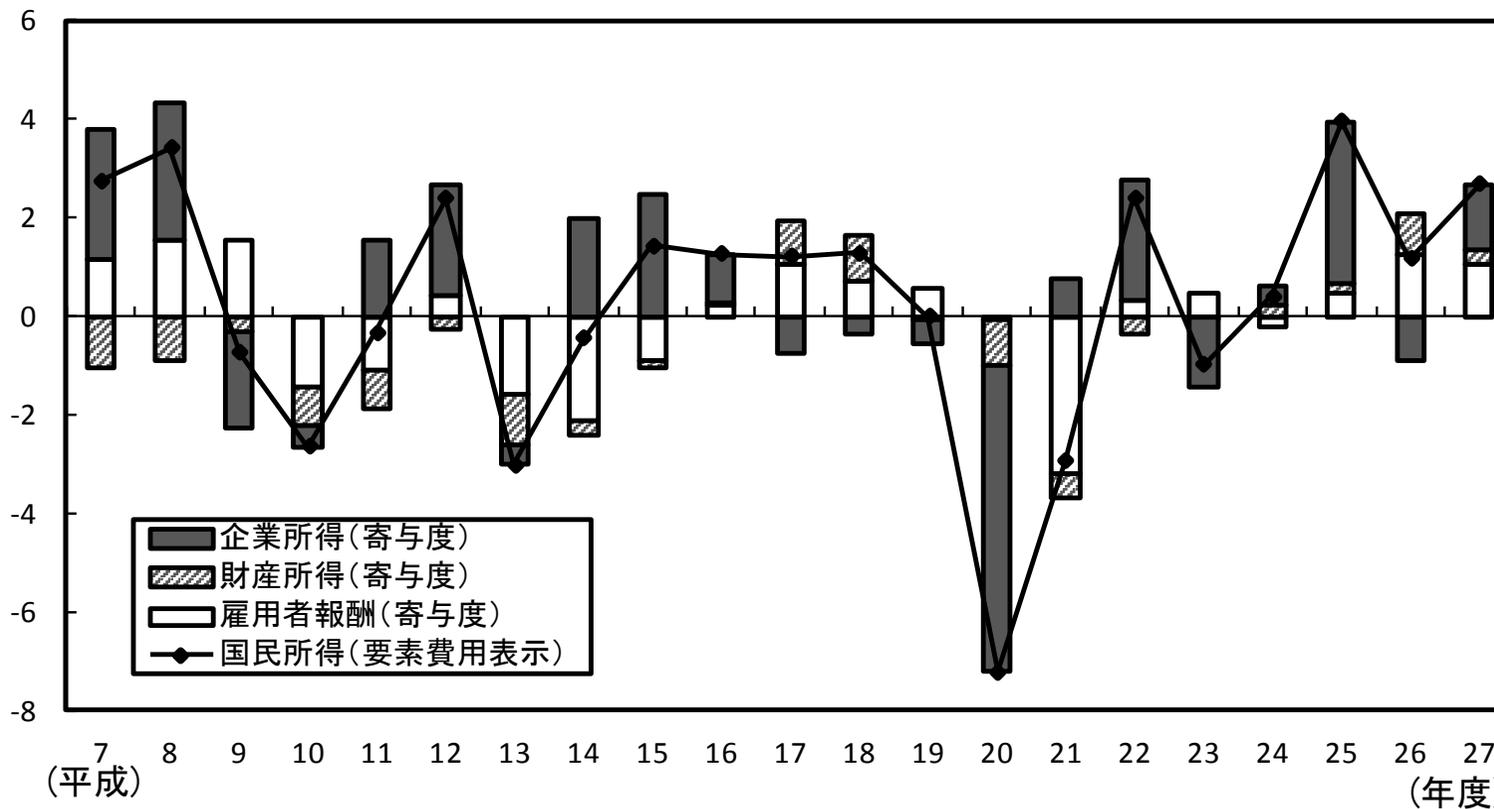
## (2) 国民所得 (続き)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
国民所得 (要素費用表示)	387.4	392.4	392.3	364.0	353.4	361.9	358.4	359.8	374.0	378.3	388.5
(兆円)											
(前年度比、%)	1.2	1.3	-0.0	-7.2	-2.9	2.4	-1.0	0.4	3.9	1.2	2.7
雇⽤者報酬	258.0	260.8	262.9	262.6	251.1	252.2	253.9	253.1	254.9	259.5	263.4
(兆円)											
(前年度比、%)	1.6	1.1	0.8	-0.1	-4.4	0.4	0.7	-0.3	0.7	1.8	1.5
(寄与度、%)	1.0	0.7	0.5	-0.1	-3.2	0.3	0.5	-0.2	0.5	1.2	1.0
(構成比、%) = 労働分配率	66.6	66.5	67.0	72.2	71.0	69.7	70.8	70.3	68.1	68.6	67.8
財産所得	23.5	27.1	26.8	23.1	21.3	20.1	20.0	20.8	21.5	24.5	25.7
(兆円)											
(前年度比、%)	17.3	15.3	-1.1	-13.8	-7.7	-6.0	-0.1	3.7	3.3	14.3	4.7
(寄与度、%)	0.9	0.9	-0.1	-0.9	-0.5	-0.4	-0.0	0.2	0.2	0.8	0.3
(構成比、%)	6.1	6.9	6.8	6.3	6.0	5.5	5.6	5.8	5.7	6.5	6.6
企業所得	105.9	104.5	102.6	78.3	81.0	89.7	84.4	85.9	97.7	94.3	99.3
(兆円)											
(前年度比、%)	-2.6	-1.4	-1.8	-23.7	3.5	10.7	-5.8	1.8	13.7	-3.5	5.4
(寄与度、%)	-0.7	-0.4	-0.5	-6.2	0.8	2.4	-1.4	0.4	3.3	-0.9	1.3
(構成比、%)	27.3	26.6	26.1	21.5	22.9	24.8	23.6	23.9	26.1	24.9	25.6
(参考) 法人企業所得	81.8	86.2	82.5	55.4	57.6	64.8	62.8	69.2	82.8	85.8	93.4
(兆円)											
(前年度比、%)	7.6	5.4	-4.3	-32.9	3.9	12.5	-3.1	10.2	19.7	3.5	8.9

- (注1) 財産所得は、一般政府、家計（個人企業及び持ち家の支払利子、支払賃貸料を除く）及び対家計民間非営利団体の財産所得の純受取。企業所得は、民間法人企業、公的企業及び個人企業の営業余剰・混合所得に財産所得の純受取（ただし、個人企業及び持ち家については支払利子、支払賃貸料のみ）を加えたものであり、企業部門の「第1次所得バランス」を指す。
- (注2) (参考) 法人企業所得は、非金融法人企業、金融機関について、営業余剰（純）に財産所得の受取を加え、利子、その他の投資所得、賃貸料の支払を控除したものの。
- (注3) 寄与度は、国民所得（要素費用表示）伸び率に対する寄与度。

図3-1 国民所得の伸び率に対する  
各要素所得の寄与度

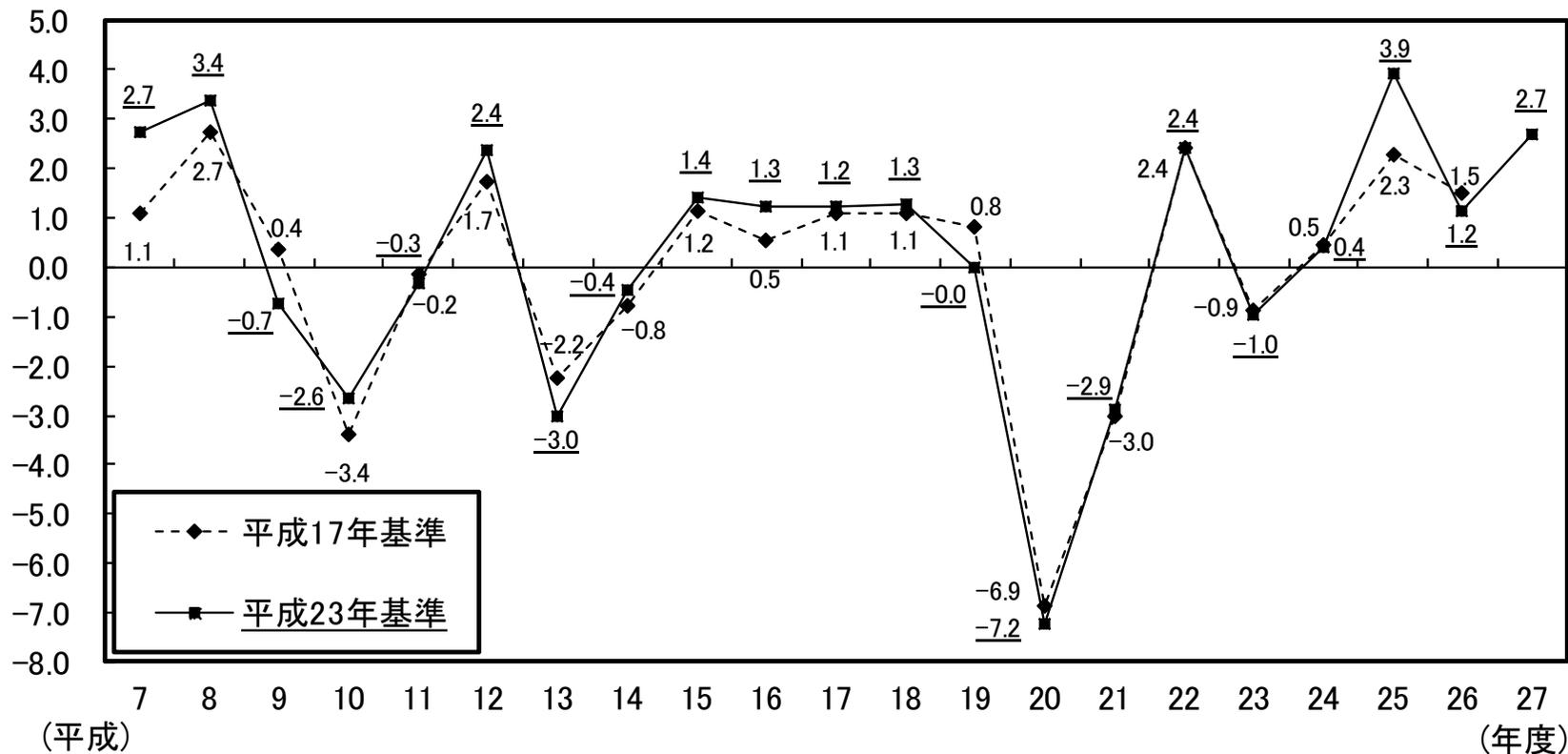
(前年度比、%)



年度	(平成)	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
		1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
国民所得(要素費用表示)		2.7	3.4	-0.7	-2.6	-0.3	2.4	-3.0	-0.4	1.4	1.3	1.2	1.3	-0.0	-7.2	-2.9	2.4	-1.0	0.4	3.9	1.2	2.7
雇用者報酬(寄与度)		1.2	1.5	1.6	-1.5	-1.1	0.4	-1.6	-2.1	-0.9	0.2	1.0	0.7	0.5	-0.1	-3.2	0.3	0.5	-0.2	0.5	1.2	1.0
財産所得(寄与度)		-1.1	-0.9	-0.3	-0.7	-0.8	-0.3	-1.0	-0.3	-0.2	0.0	0.9	0.9	-0.1	-0.9	-0.5	-0.4	-0.0	0.2	0.2	0.8	0.3
企業所得(寄与度)		2.6	2.8	-2.0	-0.4	1.6	2.2	-0.4	2.0	2.5	1.0	-0.7	-0.4	-0.5	-6.2	0.8	2.4	-1.4	0.4	3.3	-0.9	1.3

### 図3-2 国民所得の伸び率の改定状況

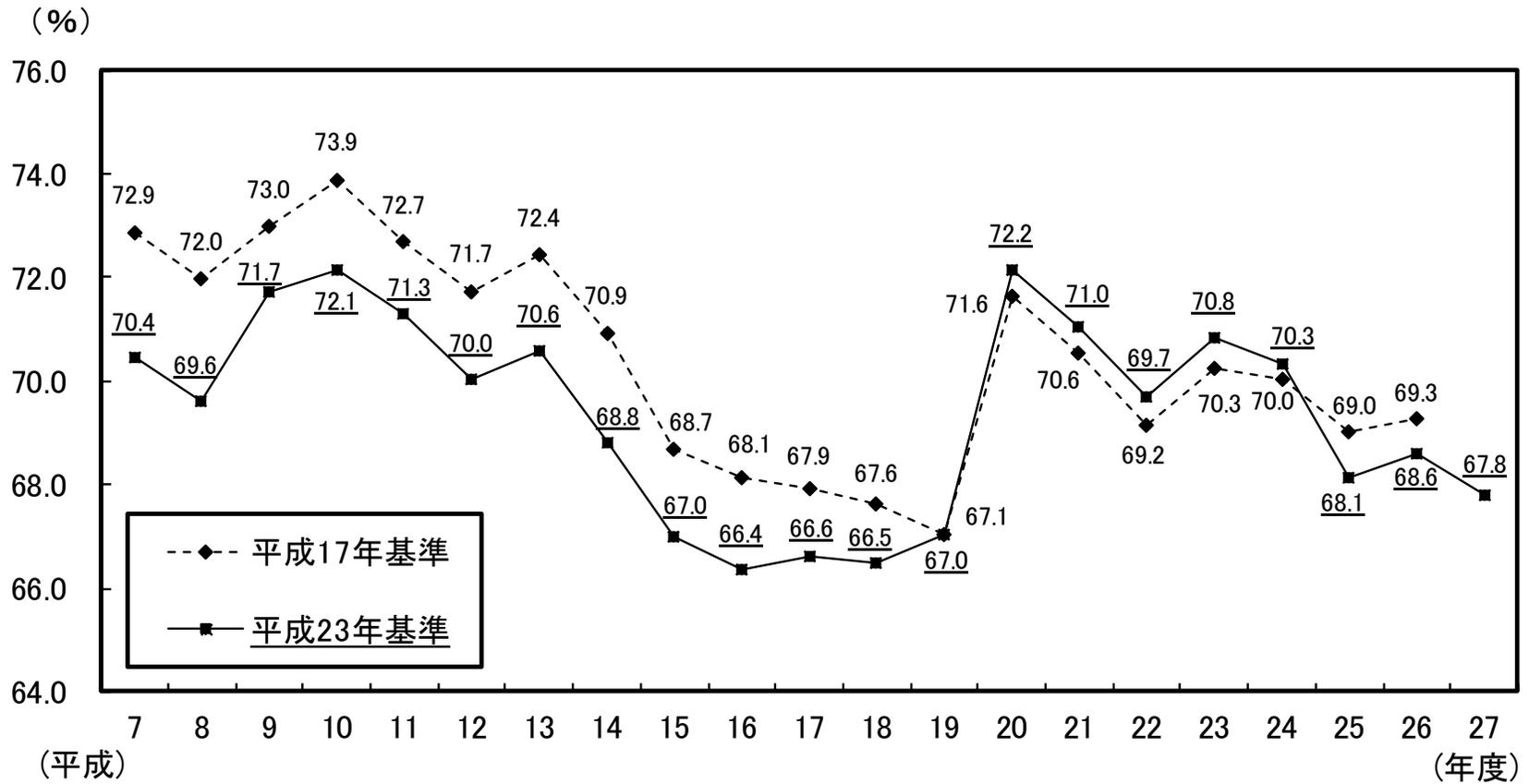
(前年度比、%)



(前年度比、%)

年度 (平成)	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010	23年 2011	24年 2012	25年 2013	26年 2014	27年 2015
平成23年基準	2.7	3.4	-0.7	-2.6	-0.3	2.4	-3.0	-0.4	1.4	1.3	1.2	1.3	-0.0	-7.2	-2.9	2.4	-1.0	0.4	3.9	1.2	2.7
平成17年基準	1.1	2.7	0.4	-3.4	-0.2	1.7	-2.2	-0.8	1.2	0.5	1.1	1.1	0.8	-6.9	-3.0	2.4	-0.9	0.5	2.3	1.5	-
差	1.7	0.7	-1.1	0.7	-0.2	0.6	-0.8	0.3	0.3	0.7	0.1	0.2	-0.8	-0.3	0.1	-0.0	-0.1	-0.1	1.7	-0.3	-

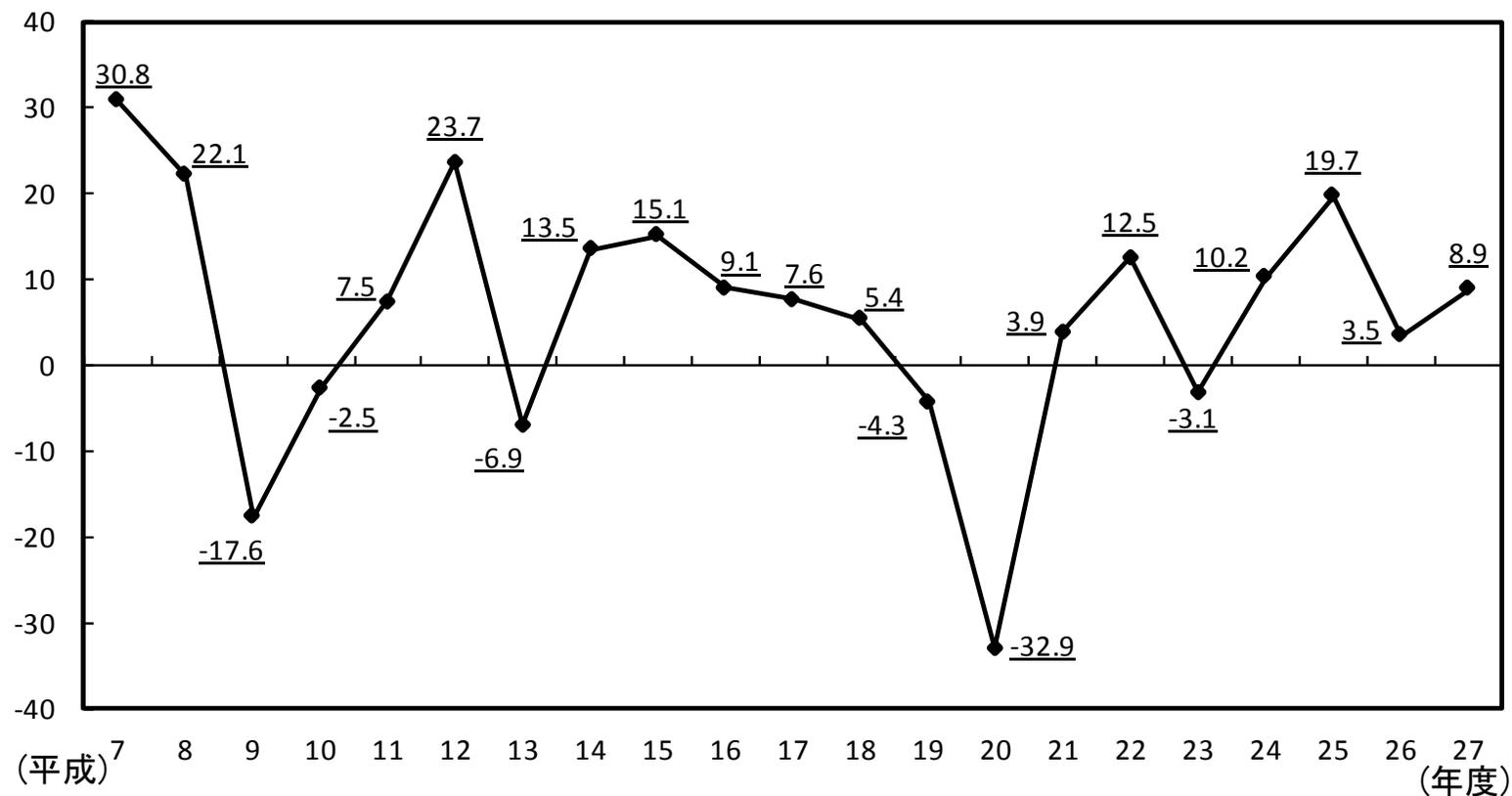
図3-3 労働分配率の改定状況



年度 (平成)	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
平成23年基準	71.2	70.4	69.6	71.7	72.1	71.3	70.0	70.6	68.8	67.0	66.4	66.6	66.5	67.0	72.2	71.0	69.7	70.8	70.3	68.1	68.6	67.8
平成17年基準	72.4	72.9	72.0	73.0	73.9	72.7	71.7	72.4	70.9	68.7	68.1	67.9	67.6	67.1	71.6	70.6	69.2	70.3	70.0	69.0	69.3	-
差	-1.2	-2.4	-2.3	-1.3	-1.7	-1.4	-1.7	-1.8	-2.1	-1.7	-1.8	-1.3	-1.2	-0.0	0.5	0.5	0.5	0.6	0.3	-0.9	-0.7	-

図3-4 法人企業所得の伸び率（参考）

(前年度比、%)



(前年度比、%)

年度 (平成)	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
法人企業所得	30.8	22.1	-17.6	-2.5	7.5	23.7	-6.9	13.5	15.1	9.1

年度 (平成)	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
法人企業所得	7.6	5.4	-4.3	-32.9	3.9	12.5	-3.1	10.2	19.7	3.5	8.9

### (3) 家計貯蓄

平成27年度の家計貯蓄は、2年連続で前年度から増加し、2.2兆円となった。家計最終消費支出が増加したものの、家計可処分所得の増加により、対前年度で1.7兆円の増加となった。

家計貯蓄率も2年連続で上昇し、0.7%となった（前年度差0.6%ポイント上昇）。

#### 家計貯蓄率

	平成 6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
家計貯蓄率 (a / (b+c)) (%)	13.0	11.1	10.1	11.4	11.1	10.4	8.4	5.3	4.7	4.4	3.5	2.9	2.8	2.0	3.5	4.3	3.9	3.6	2.1	-1.1	0.2	0.7
家計最終消費支出 (兆円)	265.0	270.9	277.7	278.7	278.1	279.7	281.9	282.6	282.7	282.1	283.4	287.2	288.7	291.0	285.5	281.3	281.3	281.7	284.0	292.7	291.5	292.4
家計貯蓄 (a) (兆円)	39.7	33.8	31.2	35.9	34.7	32.5	25.7	15.8	13.9	12.9	10.2	8.5	8.3	6.0	10.3	12.7	11.5	10.7	6.1	-3.1	0.5	2.2
年金受給権の変動調整 (受取) (b) (兆円)	3.1	2.4	2.3	1.2	1.5	0.8	0.3	1.2	0.4	0.6	-0.9	0.5	0.2	-0.1	0.3	-0.8	-0.5	-0.7	-1.2	-1.0	-0.5	-1.0
家計可処分所得 (c) (兆円)	301.6	302.3	306.6	313.5	311.4	311.4	307.2	297.2	296.2	294.4	294.5	295.1	296.8	297.1	295.5	294.8	293.2	293.0	291.3	290.6	292.5	295.6

(注) 家計貯蓄 = 家計可処分所得 + 年金受給権の変動調整 (受取) - 家計最終消費支出

#### 家計貯蓄率の対前年度差に対する寄与度 (%ポイント)

	平成 7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
家計貯蓄率の対前年度差	-1.9	-1.0	1.3	-0.3	-0.7	-2.0	-3.1	-0.6	-0.3	-0.9	-0.6	-0.1	-0.8	1.5	0.9	-0.4	-0.3	-1.5	-3.2	1.3	0.6
消費要因	-1.95	-2.22	-0.35	0.19	-0.51	-0.68	-0.25	-0.03	0.20	-0.43	-1.28	-0.53	-0.77	1.84	1.43	0.01	-0.14	-0.79	-3.02	0.42	-0.29
所得要因	0.00	1.21	1.65	-0.51	-0.18	-1.35	-2.82	-0.57	-0.47	0.66	0.45	-0.01	-0.38	-0.59	-0.41	-0.15	-0.74	-0.17	0.85	0.85	
営業余剰(持ち家)・混合所得	-0.38	-0.21	0.40	-0.33	0.60	-0.87	-0.06	0.46	0.27	-0.42	-0.81	-0.53	-0.20	-0.36	0.04	-0.01	-0.64	0.21	0.29	-0.48	-0.00
雇用者報酬	1.23	1.69	1.74	-1.60	-1.18	0.47	-1.87	-2.51	-1.06	0.27	1.31	0.93	0.70	-0.10	-3.79	0.37	0.57	-0.27	0.60	1.60	1.33
財産所得(純)	-0.73	-0.46	-0.29	-0.37	-0.61	0.09	-1.32	-0.22	-0.22	-0.33	0.47	0.88	-0.14	-0.53	-0.27	-0.13	0.33	0.35	-0.21	0.69	0.19
現金による社会保障給付、社会扶助給付	0.84	0.37	0.44	0.47	0.45	0.21	0.44	0.46	0.11	0.37	0.36	0.32	0.41	0.52	1.31	0.65	0.19	0.01	0.34	0.01	0.31
所得・富等に課される経常税	0.13	0.25	-0.35	1.14	0.23	-1.10	0.34	1.25	0.43	-0.28	-0.36	-0.43	-0.70	0.27	0.76	0.24	-0.10	-0.30	-0.61	-0.10	-0.35
純社会負担(一般政府分)	-0.95	-0.40	-0.48	-0.01	0.18	-0.20	-0.36	0.03	0.02	-0.17	-0.44	-0.50	-0.31	-0.30	0.62	-0.70	-0.61	-0.59	-0.58	-0.85	-0.75
その他の経常移転(純)	-0.13	-0.02	0.18	0.19	0.16	0.06	0.01	-0.05	-0.07	0.09	0.15	-0.21	0.22	0.12	0.73	-0.84	0.11	-0.17	-0.01	-0.03	0.14

(注1) 貯蓄率を s、所得総額を I、所得項目 i の額を I<sub>i</sub>、消費額を C とすると、貯蓄率の変化要因は下式のように分解される。上記寄与度分解においては、同式の第1項を消費要因、第2項を所得要因とし、第3項は捨象している。

$$\Delta s = -\frac{1}{I} \Delta C + \frac{C}{I(I + \Delta I)} \sum \Delta I_i + \frac{1}{I(I + \Delta I)} \Delta C \sum \Delta I_i$$

図3-5 家計貯蓄率

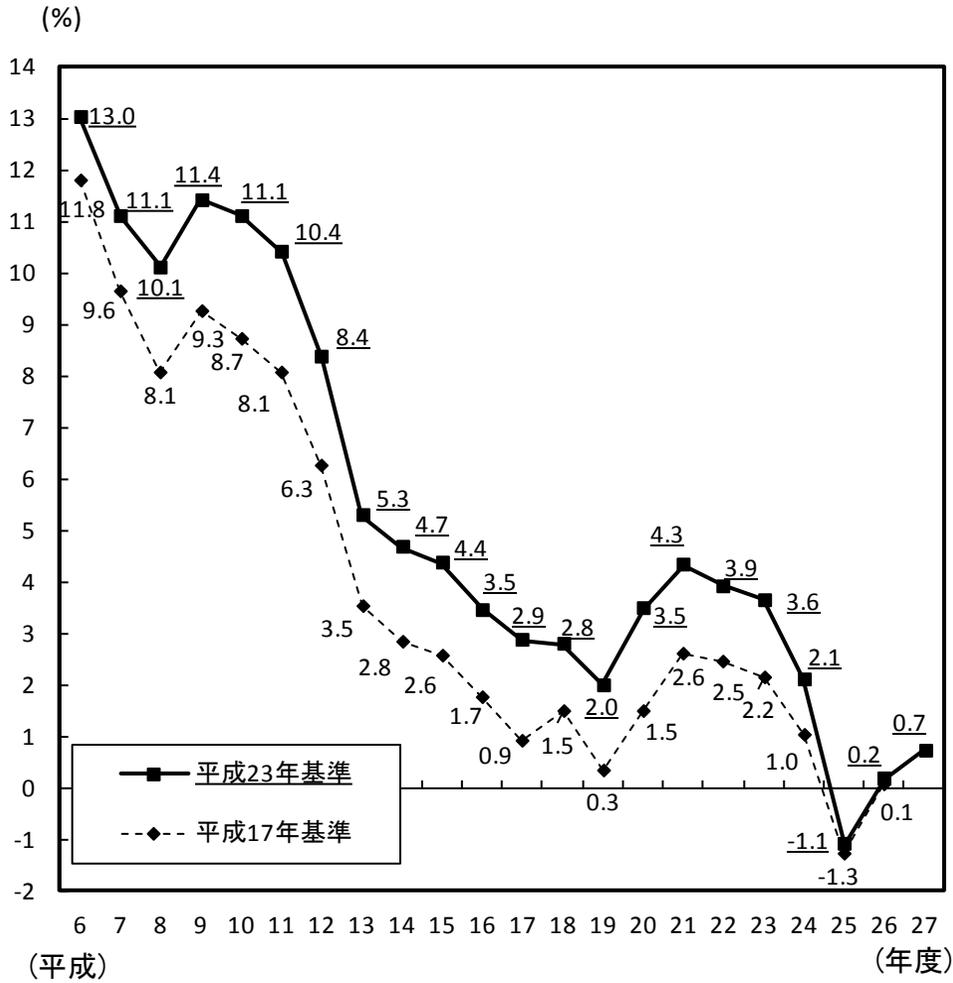
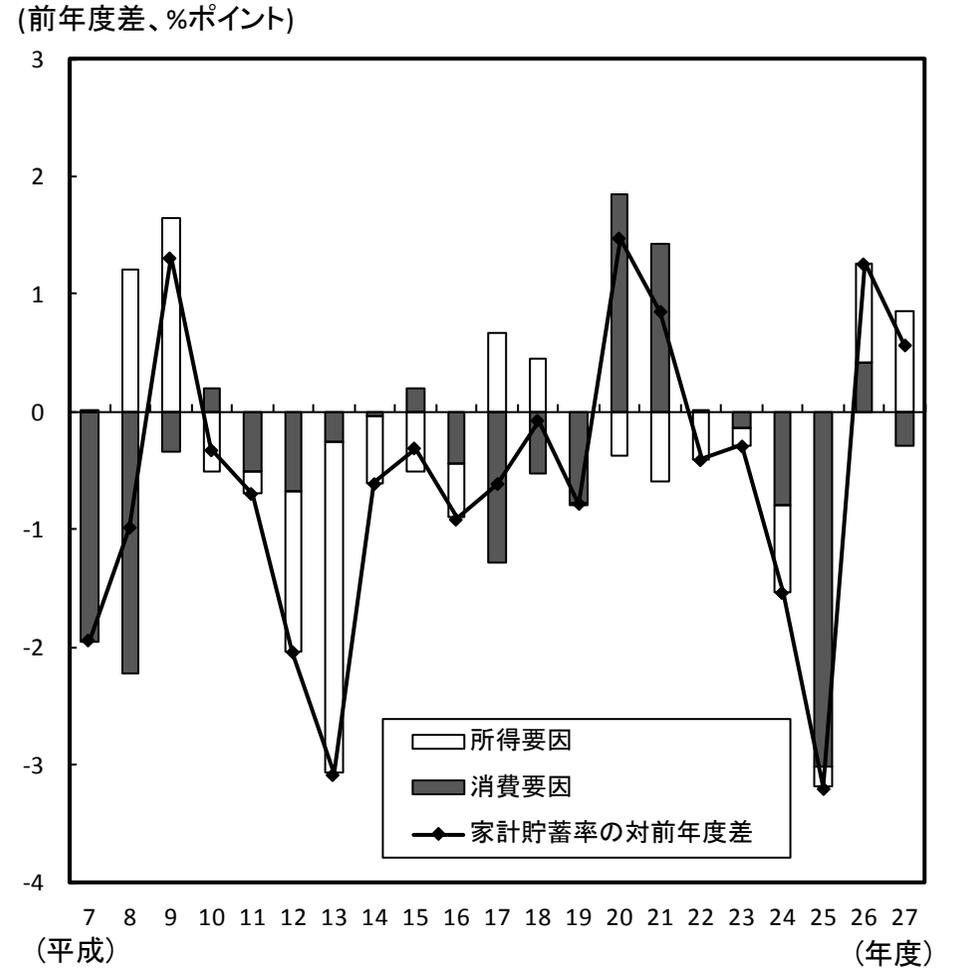


図3-6 家計貯蓄率前年度差に対する所得・消費要因別寄与度



## 4. 生産

平成27暦年の経済活動別（産業別）のGDP構成比(名目)をみると、第1次産業のシェアは1.1%と横ばいとなった。第2次産業のシェアは4年連続で上昇し、26.2%となった。第3次産業のシェアは4年連続で低下し、72.7%となった。

経済活動別GDPの構成比（名目）

(%)

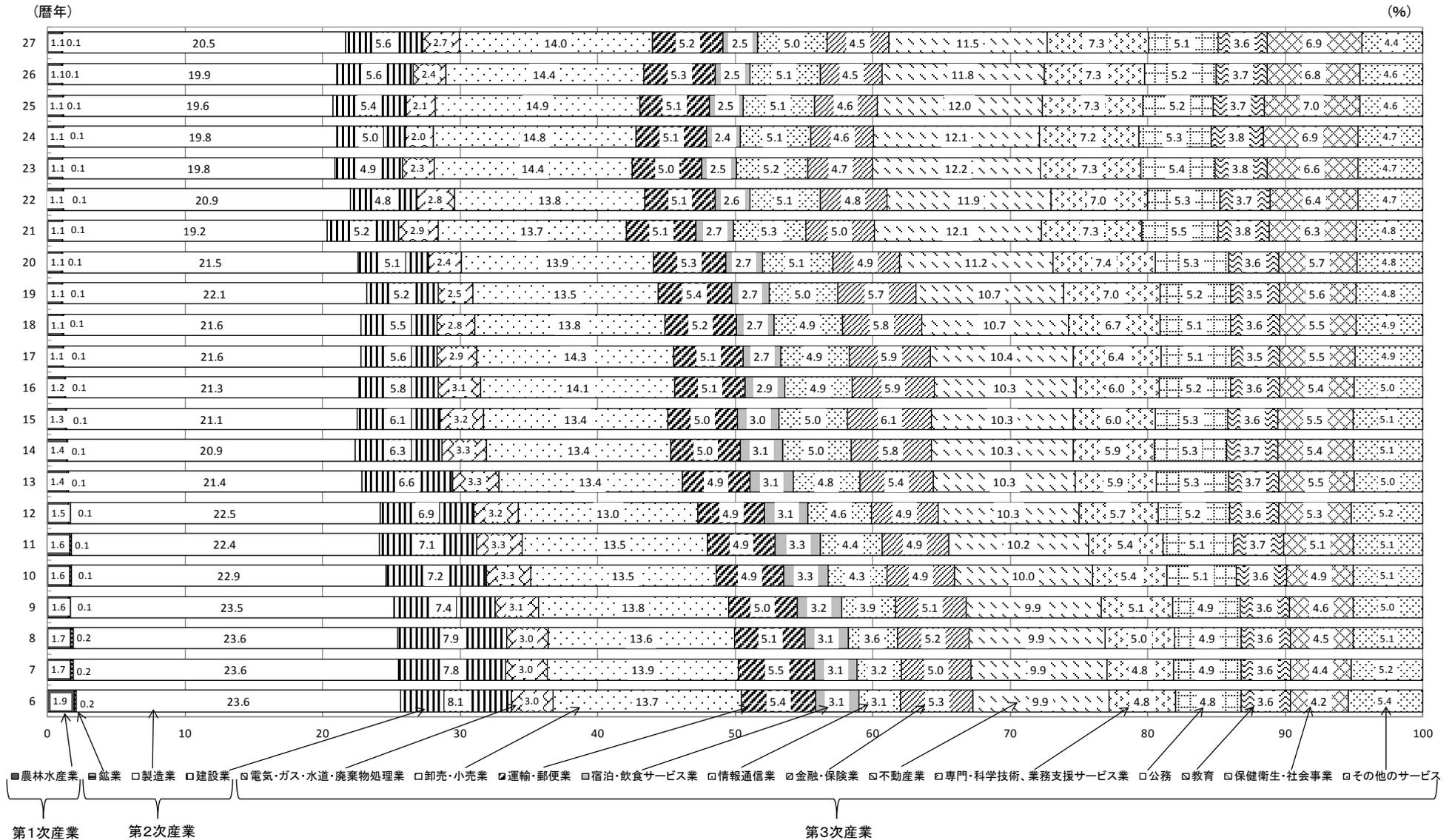
	平成 6暦年	7暦年	8暦年	9暦年	10暦年	11暦年	12暦年	13暦年	14暦年	15暦年	16暦年	17暦年	18暦年	19暦年	20暦年	21暦年	22暦年	23暦年	24暦年	25暦年	26暦年	27暦年
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
1. 農林水産業	1.9	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
2. 鉱業	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
3. 製造業	23.6	23.6	23.6	23.5	22.9	22.4	22.5	21.4	20.9	21.1	21.3	21.6	21.6	22.1	21.5	19.2	20.9	19.8	19.8	19.6	19.9	20.5
4. 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	3.0	3.0	3.0	3.1	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2	3.1	2.9	2.8	2.5	2.4	2.9	2.8	2.3	2.0	2.1	2.4	2.7
5. 建設業	8.1	7.8	7.9	7.4	7.2	7.1	6.9	6.6	6.3	6.1	5.8	5.6	5.5	5.2	5.1	5.2	4.8	4.9	5.0	5.4	5.6	5.6
6. 卸売・小売業	13.7	13.9	13.6	13.8	13.5	13.5	13.0	13.4	13.4	13.4	14.1	14.3	13.8	13.5	13.9	13.7	13.8	14.4	14.8	14.9	14.4	14.0
7. 運輸・郵便業	5.4	5.5	5.1	5.0	4.9	4.9	4.9	4.9	5.0	5.0	5.1	5.1	5.2	5.4	5.3	5.1	5.1	5.0	5.1	5.1	5.3	5.2
8. 宿泊・飲食サービス業	3.1	3.1	3.1	3.2	3.3	3.3	3.1	3.1	3.1	3.0	2.9	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.6	2.5	2.4	2.5	2.5	2.5
9. 情報通信業	3.1	3.2	3.6	3.9	4.3	4.4	4.6	4.8	5.0	5.0	4.9	4.9	4.9	5.0	5.1	5.3	5.1	5.2	5.1	5.1	5.1	5.0
10. 金融・保険業	5.3	5.0	5.2	5.1	4.9	4.9	4.9	5.4	5.8	6.1	5.9	5.9	5.8	5.7	4.9	5.0	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5
11. 不動産業	9.9	9.9	9.9	9.9	10.0	10.2	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.4	10.7	10.7	11.2	12.1	11.9	12.2	12.1	12.0	11.8	11.5
12. 専門・科学技術、業務支援サービス業	4.8	4.8	5.0	5.1	5.4	5.4	5.7	5.9	5.9	6.0	6.0	6.4	6.7	7.0	7.4	7.3	7.0	7.3	7.2	7.3	7.3	7.3
13. 公務	4.8	4.9	4.9	4.9	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3	5.3	5.2	5.1	5.1	5.2	5.3	5.5	5.3	5.4	5.3	5.2	5.2	5.1
14. 教育	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6
15. 保健衛生・社会事業	4.2	4.4	4.5	4.6	4.9	5.1	5.3	5.5	5.4	5.5	5.4	5.5	5.5	5.6	5.7	6.3	6.4	6.6	6.9	7.0	6.8	6.9
16. その他のサービス	5.4	5.2	5.1	5.0	5.1	5.1	5.2	5.0	5.1	5.1	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1次産業(農林水産業)	1.9	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
第2次産業(鉱業、製造業、建設業)	31.8	31.6	31.7	31.0	30.3	29.6	29.5	28.1	27.3	27.2	27.2	27.2	27.2	27.3	26.6	24.4	25.7	24.8	24.9	25.0	25.5	26.2
第3次産業(その他)	66.2	66.7	66.6	67.4	68.1	68.8	69.0	70.5	71.3	71.4	71.6	71.7	71.7	71.6	72.3	74.5	73.1	74.2	74.0	73.9	73.4	72.7
市場生産者	89.3	89.1	89.1	89.0	88.6	88.5	88.6	88.4	88.3	88.4	88.6	88.7	88.6	88.7	88.5	88.1	88.6	88.2	88.3	88.6	88.6	88.8
一般政府	8.9	9.0	9.0	9.1	9.4	9.5	9.5	9.6	9.8	9.6	9.5	9.3	9.3	9.2	9.5	9.8	9.3	9.6	9.4	9.2	9.2	9.0
対家計民間非営利団体	1.8	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.0	2.0	2.1	2.1	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2

(注1) 経済活動別付加価値の合計（国内総生産（GDP）とは異なる）に対する構成比。

(注2) 各経済活動には市場生産者のほか、一般政府、対家計民間非営利団体からなる非市場生産者を含む。

(注3) 不動産業の生産額には、持ち家の帰属家賃（持ち家を賃貸と同様のサービス生産と考えること）を含む。

図4 経済活動別GDP構成比(名目)



## 5. 純貸出(+)/純借入(-)

平成27年度の制度部門別純貸出(+)/純借入(-)（対名目GDP比）については、非金融法人企業が4.8%、家計が1.1%とプラス幅が拡大、一般政府が▲3.3%とマイナス幅が縮小した一方、金融機関が0.4%とプラス幅が縮小した。こうしたことにより、一国全体の純貸出(+)/純借入(-)（注）については、平成26年度の8.7兆円から平成27年度は17.5兆円と2年連続でプラス幅が拡大した。

（注）海外部門の数値について、符号を逆転させたものが、一国全体の数値となる。

i) 実額

(兆円)

	平成6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
非金融法人企業	-3.6	-14.0	-1.3	-16.1	18.9	3.7	6.4	7.8	27.1	24.1	29.7	30.7	15.5	17.0	10.2	31.4	34.4	26.6	28.0	34.1	23.2	25.3
金融機関	11.8	12.4	12.6	13.6	11.4	15.1	13.9	14.8	18.1	14.4	11.5	5.0	13.0	12.4	11.3	10.6	7.1	8.0	6.5	6.5	5.3	1.9
一般政府	-20.4	-24.2	-23.9	-19.6	-56.4	-39.0	-34.3	-32.7	-40.5	-36.6	-26.6	-21.0	-15.8	-14.5	-28.0	-50.1	-44.7	-44.2	-40.8	-36.4	-25.4	-17.4
家計	26.6	33.4	19.8	32.9	39.9	35.7	30.9	22.2	11.0	16.1	6.2	6.5	12.0	11.3	16.8	27.1	21.4	18.9	9.9	-2.5	4.2	6.1
対家計民間非営利団体	-1.1	-0.8	-0.3	-0.6	-2.5	-2.4	-2.3	-2.4	-1.9	-0.8	-0.5	-1.0	-0.3	-0.2	-0.4	-0.8	0.0	-0.8	-0.4	-0.6	0.3	0.2
海外部門	-12.2	-9.4	-7.0	-12.3	-12.2	-12.0	-12.9	-11.0	-12.8	-17.3	-18.8	-18.7	-21.4	-24.0	-10.2	-16.3	-17.8	-8.4	-3.9	-1.8	-8.7	-17.5

ii) 対名目GDP比

(%)

	平成6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
非金融法人企業	-0.7	-2.7	-0.3	-3.0	3.6	0.7	1.2	1.5	5.3	4.7	5.7	5.8	2.9	3.2	2.0	6.4	6.9	5.4	5.7	6.7	4.5	4.8
金融機関	2.4	2.4	2.4	2.6	2.2	2.9	2.6	2.8	3.5	2.8	2.2	1.0	2.5	2.3	2.2	2.2	1.4	1.6	1.3	1.3	1.0	0.4
一般政府	-4.1	-4.7	-4.5	-3.7	-10.7	-7.5	-6.5	-6.3	-7.9	-7.1	-5.1	-4.0	-3.0	-2.7	-5.5	-10.2	-9.0	-9.0	-8.2	-7.2	-4.9	-3.3
家計	5.3	6.5	3.7	6.2	7.6	6.8	5.8	4.3	2.1	3.1	1.2	1.2	2.3	2.1	3.3	5.5	4.3	3.8	2.0	-0.5	0.8	1.1
対家計民間非営利団体	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	-0.5	-0.5	-0.4	-0.5	-0.4	-0.2	-0.1	-0.2	-0.0	-0.0	-0.1	-0.2	0.0	-0.2	-0.1	-0.1	0.1	0.0
海外部門	-2.4	-1.8	-1.3	-2.3	-2.3	-2.3	-2.4	-2.1	-2.5	-3.3	-3.6	-3.6	-4.0	-4.5	-2.0	-3.3	-3.6	-1.7	-0.8	-0.4	-1.7	-3.3

図5-1 制度部門別の純貸出(+)/純借入(-)(対名目GDP比)

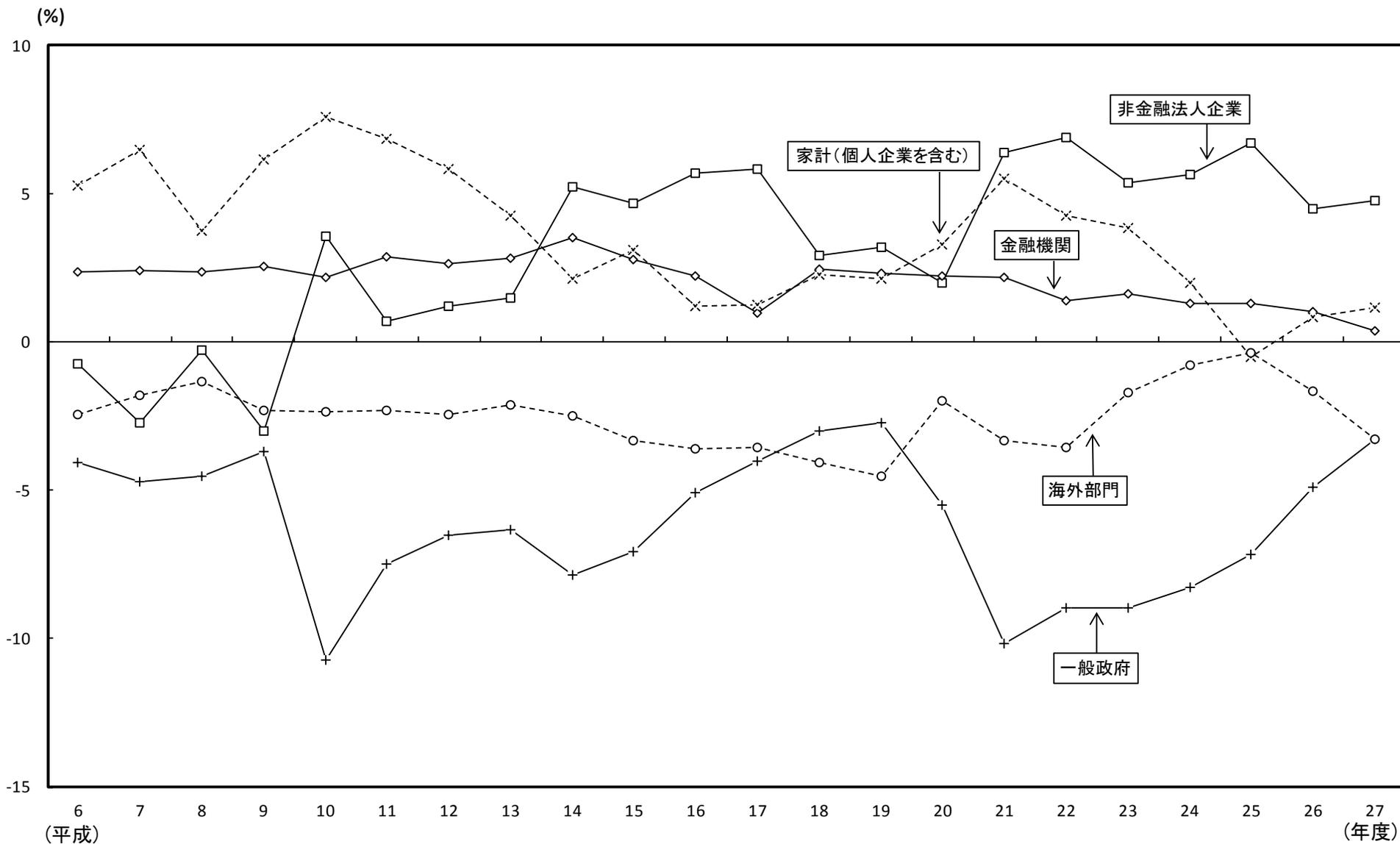
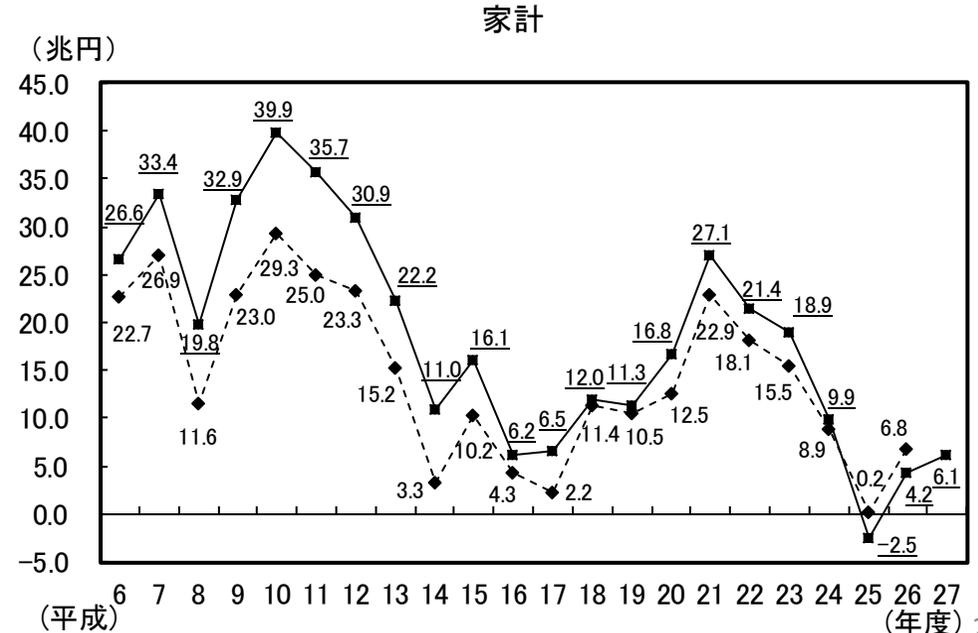
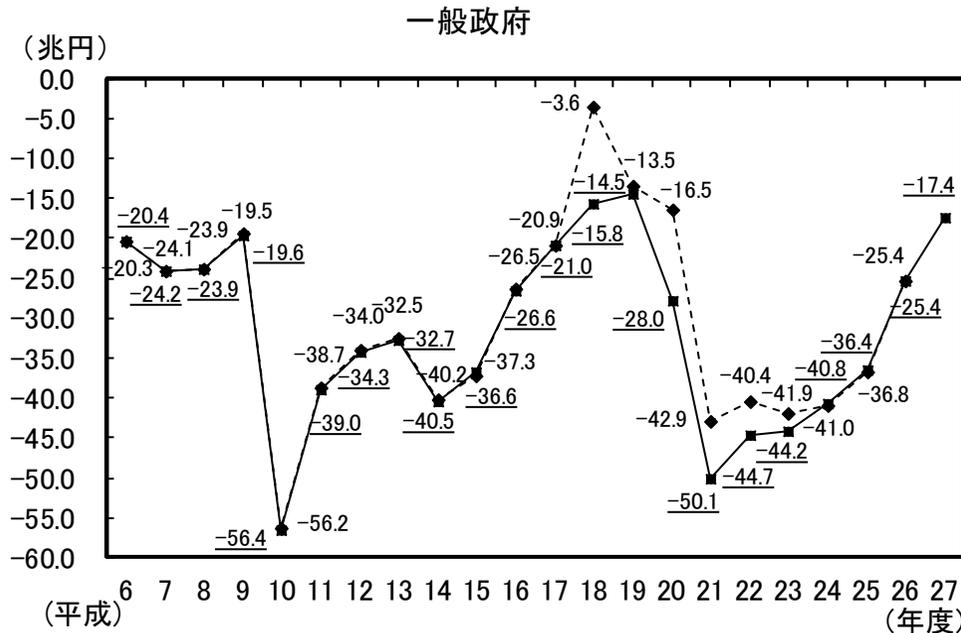
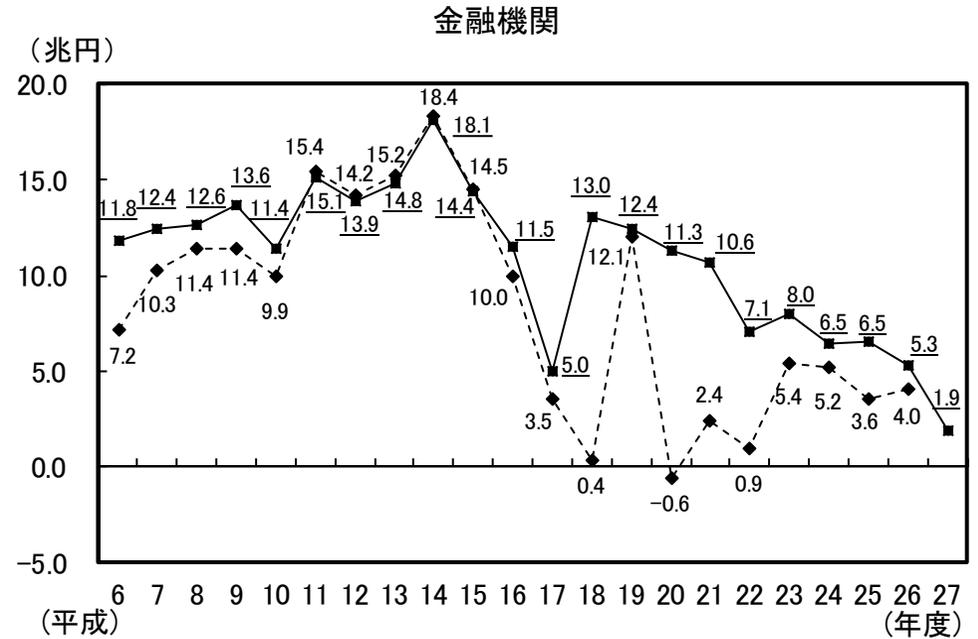
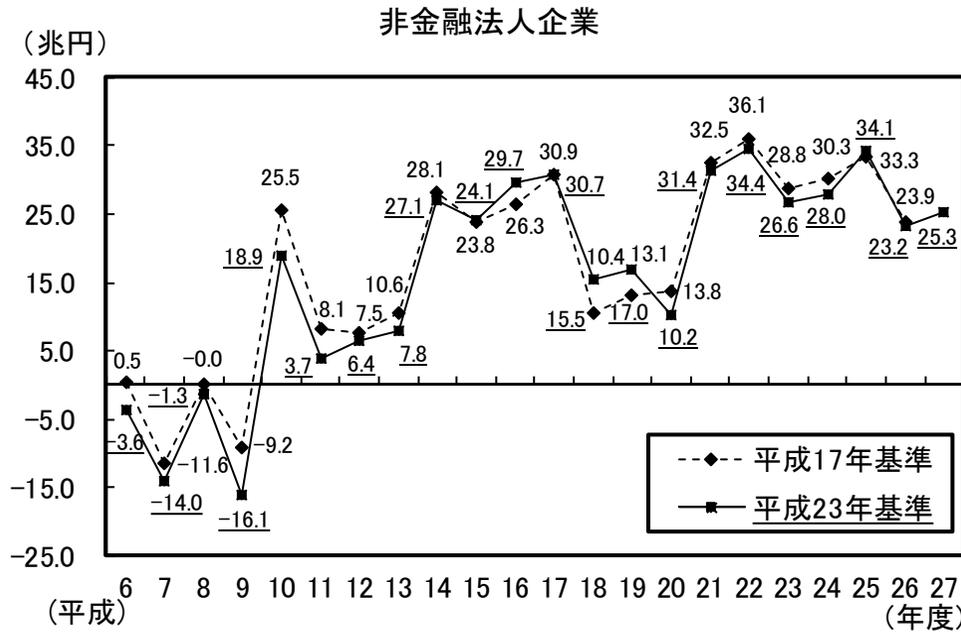


図5-2 制度部門別の純貸出(+)/純借入(-)の改定状況



(兆円)

年度	(平成)	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
		1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
非金融法人企業	平成23年基準	-3.6	-14.0	-1.3	-16.1	18.9	3.7	6.4	7.8	27.1	24.1	29.7
	平成17年基準	0.5	-11.6	-0.0	-9.2	25.5	8.1	7.5	10.6	28.1	23.8	26.3
	差	-4.1	-2.4	-1.3	-6.9	-6.6	-4.4	-1.1	-2.7	-1.0	0.4	3.4
金融機関	平成23年基準	11.8	12.4	12.6	13.6	11.4	15.1	13.9	14.8	18.1	14.4	11.5
	平成17年基準	7.2	10.3	11.4	11.4	9.9	15.4	14.2	15.2	18.4	14.5	10.0
	差	4.6	2.1	1.2	2.2	1.5	-0.3	-0.3	-0.4	-0.3	-0.1	1.6
一般政府	平成23年基準	-20.4	-24.2	-23.9	-19.6	-56.4	-39.0	-34.3	-32.7	-40.5	-36.6	-26.6
	平成17年基準	-20.3	-24.1	-23.9	-19.5	-56.2	-38.7	-34.0	-32.5	-40.2	-37.3	-26.5
	差	-0.0	-0.1	-0.0	-0.1	-0.2	-0.3	-0.3	-0.2	-0.2	0.7	-0.1
家計	平成23年基準	26.6	33.4	19.8	32.9	39.9	35.7	30.9	22.2	11.0	16.1	6.2
	平成17年基準	22.7	26.9	11.6	23.0	29.3	25.0	23.3	15.2	3.3	10.2	4.3
	差	3.9	6.5	8.2	9.9	10.6	10.7	7.6	7.0	7.7	5.9	1.9

年度	(平成)	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
非金融法人企業	平成23年基準	30.7	15.5	17.0	10.2	31.4	34.4	26.6	28.0	34.1	23.2	25.3
	平成17年基準	30.9	10.4	13.1	13.8	32.5	36.1	28.8	30.3	33.3	23.9	-
	差	-0.2	5.1	3.9	-3.6	-1.0	-1.7	-2.2	-2.4	0.8	-0.6	-
金融機関	平成23年基準	5.0	13.0	12.4	11.3	10.6	7.1	8.0	6.5	6.5	5.3	1.9
	平成17年基準	3.5	0.4	12.1	-0.6	2.4	0.9	5.4	5.2	3.6	4.0	-
	差	1.5	12.6	0.4	11.8	8.2	6.1	2.5	1.3	2.9	1.3	-
一般政府	平成23年基準	-21.0	-15.8	-14.5	-28.0	-50.1	-44.7	-44.2	-40.8	-36.4	-25.4	-17.4
	平成17年基準	-20.9	-3.6	-13.5	-16.5	-42.9	-40.4	-41.9	-41.0	-36.8	-25.4	-
	差	-0.1	-12.2	-1.0	-11.5	-7.2	-4.3	-2.3	0.2	0.4	-0.0	-
家計	平成23年基準	6.5	12.0	11.3	16.8	27.1	21.4	18.9	9.9	-2.5	4.2	6.1
	平成17年基準	2.2	11.4	10.5	12.5	22.9	18.1	15.5	8.9	0.2	6.8	-
	差	4.3	0.6	0.8	4.2	4.2	3.3	3.4	1.0	-2.6	-2.6	-

## 6. プライマリーバランス

平成27年度の一般政府の財政状況を、純貸出(+)/純借入(-)から利子（FISIM調整前）の受払による増減を控除した、「プライマリーバランス」（対名目GDP比）で見ると、中央政府（▲3.4%）のマイナス幅が対前年度で縮小し、社会保障基金（0.3%）がプラスに転じたことに加え、地方政府（0.4%）のプラス幅が対前年度で拡大したことにより、一般政府全体では▲2.7%とマイナス幅が縮小した（6年連続のマイナス幅縮小）

i) 実額

(兆円)

	平成6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
一般政府	-14.6	-18.1	-17.4	-13.2	-49.2	-32.1	-27.1	-26.3	-33.9	-30.4	-21.5	-17.9	-13.3	-12.0	-23.8	-45.6	-39.8	-38.6	-35.1	-32.1	-21.6	-14.3
中央政府	-8.7	-9.6	-10.2	-7.9	-40.9	-27.4	-23.8	-21.7	-26.2	-25.3	-20.6	-16.3	-12.5	-9.7	-21.7	-38.0	-31.9	-35.0	-30.8	-28.4	-20.9	-17.9
地方政府	-7.3	-10.2	-8.1	-6.6	-7.4	-3.0	0.4	0.1	-1.9	-2.1	0.5	2.7	4.0	3.2	4.4	1.9	0.3	3.2	2.3	2.2	0.9	2.3
社会保障基金	1.4	1.7	0.9	1.3	-0.9	-1.7	-3.7	-4.7	-5.7	-2.9	-1.5	-4.2	-4.8	-5.5	-6.5	-9.5	-8.3	-6.7	-6.6	-5.9	-1.6	1.4

ii) 対名目GDP比

(%)

	平成6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
一般政府	-2.9	-3.5	-3.3	-2.5	-9.3	-6.1	-5.1	-5.1	-6.6	-5.9	-4.1	-3.4	-2.5	-2.3	-4.7	-9.3	-8.0	-7.8	-7.1	-6.3	-4.2	-2.7
中央政府	-1.7	-1.9	-1.9	-1.5	-7.8	-5.3	-4.5	-4.2	-5.1	-4.9	-4.0	-3.1	-2.4	-1.8	-4.3	-7.7	-6.4	-7.1	-6.2	-5.6	-4.0	-3.4
地方政府	-1.5	-2.0	-1.5	-1.2	-1.4	-0.6	0.1	0.0	-0.4	-0.4	0.1	0.5	0.7	0.6	0.9	0.4	0.1	0.6	0.5	0.4	0.2	0.4
社会保障基金	0.3	0.3	0.2	0.3	-0.2	-0.3	-0.7	-0.9	-1.1	-0.6	-0.3	-0.8	-0.9	-1.0	-1.3	-1.9	-1.7	-1.4	-1.3	-1.2	-0.3	0.3

図6-1 一般政府のプライマリーバランス(対名目GDP比)

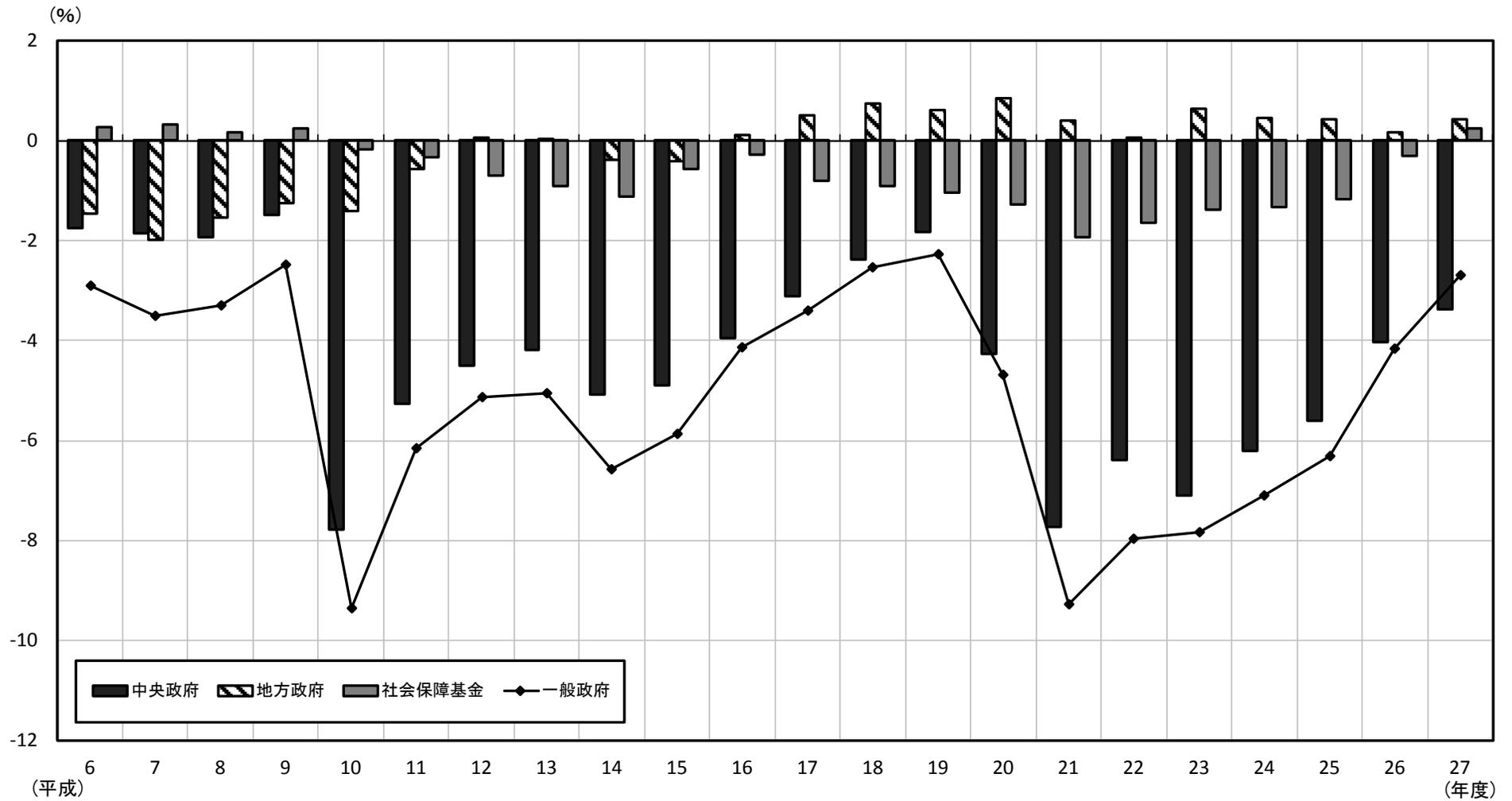
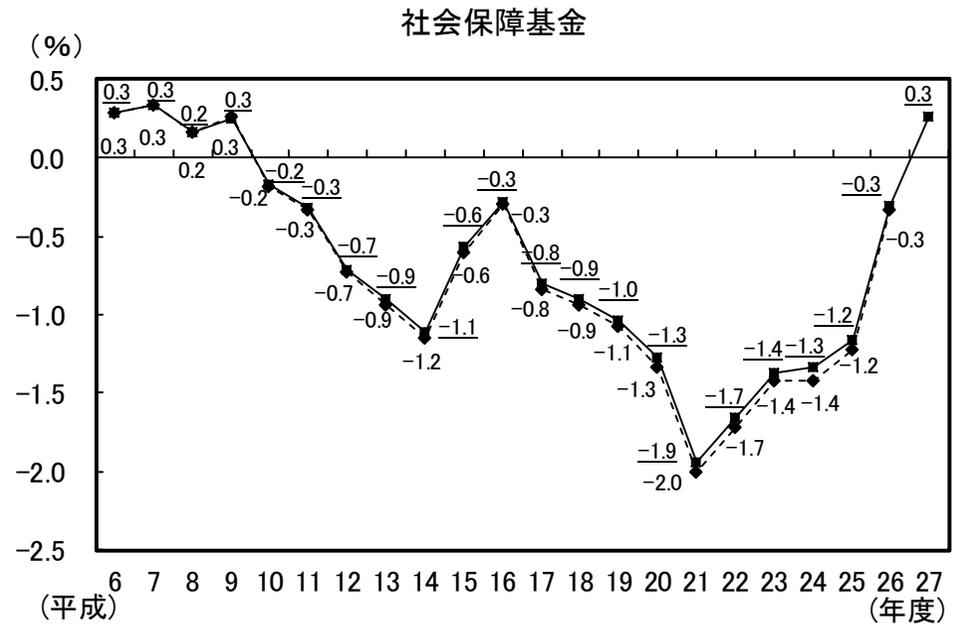
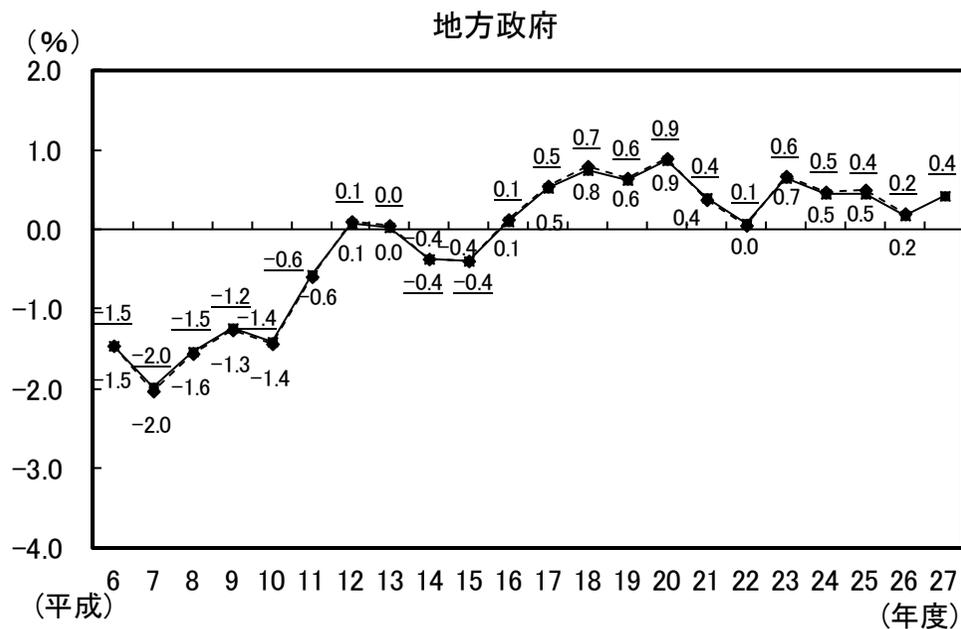
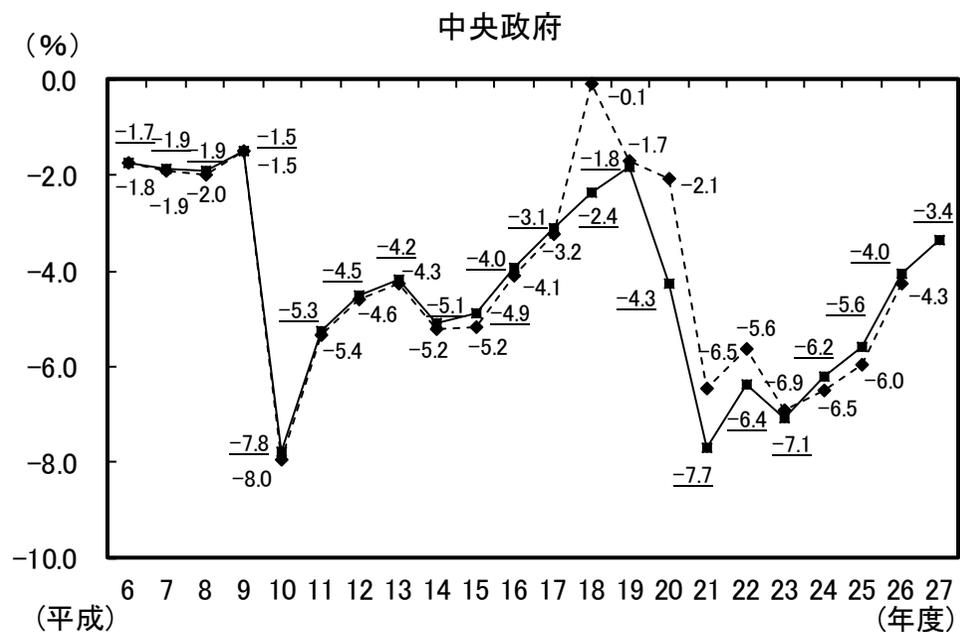
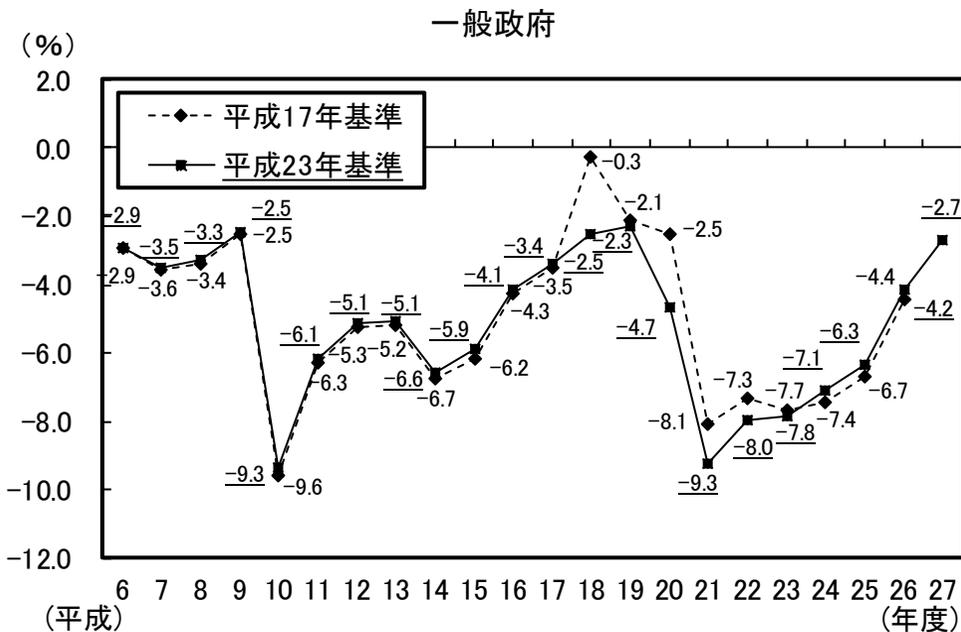


図6-2 一般政府の部門別プライマリーバランス(対名目GDP比)の改定状況



## 7. 一人当たり名目GDP、名目GNI、国民所得

平成27年度は、一人当たりの名目GDPが419.1万円となり、前年度より11.5万円増（4年連続の増加）、一人当たりの名目GNIが434.8万円となり、前年度より12.0万円増（4年連続の増加）、一人当たりの国民所得（要素費用表示）が305.9万円となり、前年度より8.2万円増（4年連続の増加）となった。

年 度	一人当たり名目GDP		一人当たり名目GNI		一人当たり国民所得		総人口	
	実額 (千円)	前年度比 (%)	実額 (千円)	前年度比 (%)	実額 (千円)	前年度比 (%)	実数 (千人)	前年度比 (%)
平成6-1994	4,012	-	4,046	-	2,942	-	125,210	-
7-1995	4,117	2.6	4,156	2.7	3,016	2.5	125,498	0.2
8-1996	4,203	2.1	4,255	2.4	3,112	3.2	125,778	0.2
9-1997	4,228	0.6	4,282	0.6	3,081	-1.0	126,102	0.3
10-1998	4,162	-1.6	4,208	-1.7	2,992	-2.9	126,421	0.3
11-1999	4,122	-1.0	4,174	-0.8	2,977	-0.5	126,652	0.2
12-2000	4,166	1.1	4,229	1.3	3,042	2.2	126,889	0.2
13-2001	4,079	-2.1	4,141	-2.1	2,942	-3.3	127,210	0.3
14-2002	4,038	-1.0	4,095	-1.1	2,924	-0.6	127,447	0.2
15-2003	4,058	0.5	4,125	0.7	2,960	1.2	127,683	0.2
16-2004	4,078	0.5	4,157	0.8	2,995	1.2	127,754	0.1
17-2005	4,116	0.9	4,213	1.3	3,032	1.2	127,761	0.0
18-2006	4,139	0.6	4,253	0.9	3,068	1.2	127,876	0.1
19-2007	4,148	0.2	4,274	0.5	3,065	-0.1	128,002	0.1
20-2008	3,978	-4.1	4,073	-4.7	2,843	-7.2	128,053	0.0
21-2009	3,843	-3.4	3,940	-3.3	2,760	-2.9	128,031	-0.0
22-2010	3,899	1.5	4,003	1.6	2,827	2.4	128,030	-0.0
23-2011	3,866	-0.8	3,973	-0.7	2,806	-0.7	127,742	-0.2
24-2012	3,880	0.4	3,987	0.4	2,822	0.6	127,496	-0.2
25-2013	3,986	2.7	4,124	3.4	2,938	4.1	127,280	-0.2
26-2014	4,076	2.3	4,228	2.5	2,977	1.3	127,065	-0.2
27-2015	4,191	2.8	4,348	2.8	3,059	2.8	126,992	-0.1

(参考)

総人口	
実数 (千人)	前年度比 (%)
125,210	-
125,498	0.2
125,778	0.2
126,102	0.3
126,421	0.3
126,652	0.2
126,889	0.2
127,210	0.3
127,447	0.2
127,683	0.2
127,754	0.1
127,761	0.0
127,876	0.1
128,002	0.1
128,053	0.0
128,031	-0.0
128,030	-0.0
127,742	-0.2
127,496	-0.2
127,280	-0.2
127,065	-0.2
126,992	-0.1

(出所) 総人口：総務省「人口推計月報」月初人口の単純平均。

(注) 一人当たり名目GDP、一人当たり名目GNI、一人当たり国民所得は、それぞれ国内総生産、国民総所得、国民所得の年度値を各月初人口の年度平均で割ったもの。

## 8. GDPの国際比較

### (1) 主要国の名目GDP

我が国の名目GDPは、平成27（2015）暦年には4兆3,836億ドルとなり、世界のGDPに占める比率は5.9%となった。

	平成 8 暦年 (1996)	9 暦年 (1997)	10 暦年 (1998)	11 暦年 (1999)	12 暦年 (2000)	13 暦年 (2001)	14 暦年 (2002)	15 暦年 (2003)	16 暦年 (2004)	17 暦年 (2005)	18 暦年 (2006)	19 暦年 (2007)	20 暦年 (2008)	21 暦年 (2009)	22 暦年 (2010)	23 暦年 (2011)	24 暦年 (2012)	25 暦年 (2013)	26 暦年 (2014)	27 暦年 (2015)
アメリカ (10億ドル) (世界に占める比率、%)	8,100.2 25.4	8,608.5 27.2	9,089.2 28.8	9,660.6 29.5	10,284.8 30.5	10,621.8 31.7	10,977.5 31.5	11,510.7 29.3	12,274.9 27.8	13,093.7 27.4	13,855.9 26.7	14,477.6 24.8	14,718.6 23.0	14,418.7 23.8	14,964.4 22.5	15,517.9 21.0	16,155.3 21.5	16,691.5 21.6	17,393.1 22.0	18,036.6 24.2
中国 (10億ドル) (世界に占める比率、%)	863.7 2.7	961.6 3.0	1,029.1 3.3	1,094.0 3.3	1,211.3 3.6	1,339.4 4.0	1,470.6 4.2	1,660.3 4.2	1,955.3 4.4	2,286.0 4.8	2,752.1 5.3	3,552.2 6.1	4,598.2 7.2	5,109.9 8.4	6,100.6 9.2	7,572.6 10.2	8,560.5 11.4	9,607.3 12.4	10,482.3 13.2	11,007.7 14.8
日本 (10億ドル) (世界に占める比率、%)	4,833.1 15.2	4,414.5 13.9	4,032.7 12.8	4,562.1 13.9	4,887.4 14.5	4,303.4 12.8	4,117.6 11.8	4,445.7 11.3	4,816.0 10.9	4,758.1 9.9	4,530.1 8.7	4,515.1 7.7	5,037.5 7.9	5,233.2 8.6	5,700.2 8.6	6,157.2 8.3	6,201.8 8.2	5,154.1 6.7	4,853.1 6.1	4,383.6 5.9
ドイツ (10億ドル) (世界に占める比率、%)	2,503.7 7.9	2,218.7 7.0	2,243.2 7.1	2,199.9 6.7	1,950.0 5.8	1,950.6 5.8	2,079.2 6.0	2,505.6 6.4	2,819.4 6.4	2,861.3 6.0	3,002.3 5.8	3,439.8 5.9	3,752.5 5.9	3,417.8 5.6	3,417.1 5.1	3,757.7 5.1	3,544.0 4.7	3,752.5 4.9	3,879.3 4.9	3,363.6 4.5
イギリス (10億ドル) (世界に占める比率、%)	1,393.1 4.4	1,537.0 4.9	1,623.5 5.2	1,652.3 5.0	1,635.4 4.8	1,613.1 4.8	1,757.5 5.0	2,028.6 5.2	2,389.1 5.4	2,508.1 5.2	2,678.3 5.2	3,063.2 5.2	2,875.6 4.5	2,367.1 3.9	2,429.7 3.7	2,608.8 3.5	2,646.0 3.5	2,719.5 3.5	2,998.8 3.8	2,858.0 3.8
フランス (10億ドル) (世界に占める比率、%)	1,614.3 5.1	1,460.7 4.6	1,510.8 4.8	1,500.2 4.6	1,368.4 4.1	1,382.2 4.1	1,500.4 4.3	1,848.1 4.7	2,124.2 4.8	2,203.6 4.6	2,324.9 4.5	2,663.0 4.6	2,923.6 4.6	2,693.7 4.4	2,646.8 4.0	2,862.7 3.9	2,681.4 3.6	2,808.5 3.6	2,839.2 3.6	2,418.9 3.2
インド (10億ドル) (世界に占める比率、%)	399.8 1.3	423.2 1.3	428.7 1.4	466.9 1.4	476.6 1.4	494.0 1.5	524.0 1.5	618.4 1.6	721.6 1.6	834.2 1.7	949.1 1.8	1,201.1 2.1	1,186.9 1.9	1,323.9 2.2	1,656.6 2.5	1,823.0 2.5	1,829.0 2.4	1,863.2 2.4	2,042.4 2.6	2,095.4 2.8
イタリア (10億ドル) (世界に占める比率、%)	1,309.0 4.1	1,239.1 3.9	1,266.3 4.0	1,248.5 3.8	1,141.8 3.4	1,162.3 3.5	1,266.6 3.6	1,569.6 4.0	1,798.4 4.1	1,852.6 3.9	1,942.5 3.7	2,202.9 3.8	2,390.8 3.7	2,185.0 3.6	2,125.1 3.2	2,276.3 3.1	2,072.8 2.8	2,130.5 2.8	2,149.8 2.7	1,821.6 2.4
ブラジル (10億ドル) (世界に占める比率、%)	850.4 2.7	883.2 2.8	863.7 2.7	599.4 1.8	655.4 1.9	559.4 1.7	508.0 1.5	558.3 1.4	669.3 1.5	891.6 1.9	1,107.6 2.1	1,397.1 2.4	1,695.8 2.7	1,667.0 2.7	2,208.9 3.3	2,614.6 3.5	2,460.7 3.3	2,465.8 3.2	2,417.0 3.1	1,774.7 2.4
カナダ (10億ドル) (世界に占める比率、%)	628.6 2.0	652.8 2.1	631.8 2.0	676.1 2.1	742.3 2.2	736.4 2.2	757.9 2.2	892.4 2.3	1,023.2 2.3	1,169.4 2.4	1,315.5 2.5	1,465.0 2.5	1,549.1 2.4	1,371.2 2.3	1,613.5 2.4	1,788.6 2.4	1,824.3 2.4	1,842.6 2.4	1,792.9 2.3	1,552.8 2.1
韓国 (10億ドル) (世界に占める比率、%)	598.1 1.9	557.5 1.8	374.2 1.2	485.2 1.5	561.6 1.7	533.1 1.6	609.0 1.7	680.5 1.7	764.9 1.7	898.1 1.9	1,011.8 2.0	1,122.7 1.9	1,002.2 1.6	901.9 1.5	1,094.5 1.6	1,202.5 1.6	1,222.8 1.6	1,305.6 1.7	1,411.3 1.8	1,377.9 1.8
ロシア (10億ドル) (世界に占める比率、%)	391.7 1.2	404.9 1.3	271.0 0.9	195.9 0.6	259.7 0.8	306.6 0.9	345.1 1.0	430.3 1.1	591.0 1.3	764.0 1.6	989.9 1.9	1,299.7 2.2	1,660.8 2.6	1,222.6 2.0	1,524.9 2.3	2,034.0 2.8	2,154.1 2.9	2,231.8 2.9	2,052.8 2.6	1,331.2 1.8
世界全体 (10億ドル)	31,843.0	31,677.4	31,511.6	32,724.5	33,725.4	33,545.4	34,888.5	39,266.3	44,198.6	47,846.0	51,804.8	58,385.5	63,930.2	60,654.0	66,531.7	73,891.6	75,249.7	77,287.2	79,190.6	74,523.3

(資料出所) 日本以外のOECD加盟国（上記のうち日本、ロシア、ブラジル、中国、インド以外の各国）：OECD “Annual National Accounts Database”

日本：経済社会総合研究所推計値

円の対ドルレートは、東京市場インターバンク直物中心相場の各月中平均値の12か月単純平均値を利用。

中国：中国国家統計局（為替レートはIMF “International Financial Statistics”）

ロシア、ブラジル、インド：世界銀行 “World Development Indicators database”

世界全体：OECD加盟35か国はOECD “Annual National Accounts Database”、日本及び中国は上記資料、その他の国は世界銀行 “World Development Indicators database” より作成。

(注) 中国は香港及びマカオを含まない。

(参考) 平成26（2014）暦年における、円の対米ドルレートは 105.8（円／ドル）

平成27（2015）暦年における、円の対米ドルレートは 121.0（円／ドル）

## (2) 主要国の一人当たり名目GDP

我が国の一人当たりの名目GDPは、平成27（2015）暦年には3万4,522ドルとなり、OECD加盟国の中で第20位となった。

	平成 8 暦年 (1996)	9 暦年 (1997)	10 暦年 (1998)	11 暦年 (1999)	12 暦年 (2000)	13 暦年 (2001)	14 暦年 (2002)	15 暦年 (2003)	16 暦年 (2004)	17 暦年 (2005)	18 暦年 (2006)	19 暦年 (2007)	20 暦年 (2008)	21 暦年 (2009)	22 暦年 (2010)	23 暦年 (2011)	24 暦年 (2012)	25 暦年 (2013)	26 暦年 (2014)	27 暦年 (2015)
アメリカ (ドル) (OECD加盟国中の順位)	30,033 8位	31,538 6位	32,913 5位	34,585 5位	36,419 5位	37,240 4位	38,122 4位	39,606 6位	41,857 8位	44,237 7位	46,369 7位	47,987 11位	48,330 13位	46,930 9位	48,302 9位	49,710 12位	51,370 8位	52,689 7位	54,484 8位	56,066 5位
イギリス (ドル) (OECD加盟国中の順位)	23,951 15位	26,357 12位	27,764 9位	28,156 9位	27,772 9位	27,289 9位	29,605 9位	34,015 11位	39,851 10位	41,516 10位	44,032 10位	49,955 9位	46,513 15位	38,019 18位	38,714 18位	41,223 18位	41,535 17位	42,422 18位	46,424 16位	43,895 11位
カナダ (ドル) (OECD加盟国中の順位)	21,228 18位	21,829 18位	20,953 18位	22,238 18位	24,190 14位	23,739 15位	24,170 17位	28,204 17位	32,036 18位	36,269 16位	40,388 13位	44,545 14位	46,595 14位	40,773 16位	47,447 10位	52,082 9位	52,495 7位	52,414 8位	50,442 12位	43,312 13位
ドイツ (ドル) (OECD加盟国中の順位)	30,733 7位	27,220 9位	27,542 10位	27,018 12位	23,938 15位	23,929 14位	25,488 14位	30,726 15位	34,612 15位	35,179 17位	36,986 16位	42,471 16位	46,463 16位	42,466 13位	42,563 15位	46,810 15位	44,065 16位	46,531 15位	47,902 14位	41,177 15位
フランス (ドル) (OECD加盟国中の順位)	27,035 13位	24,375 15位	25,118 15位	24,815 16位	22,481 17位	22,542 17位	24,293 16位	29,711 16位	33,900 16位	34,904 18位	36,570 17位	41,630 17位	45,451 17位	41,662 14位	40,737 17位	43,843 17位	40,866 18位	42,600 17位	42,870 18位	36,373 18位
日本 (ドル) (OECD加盟国中の順位) (OECD加盟国中の順位、H17年基準)	38,446 3位 3位	35,032 4位 4位	31,917 6位 6位	36,039 4位 4位	38,535 2位 4位	33,850 5位 5位	32,321 7位 8位	34,831 10位 10位	37,703 11位 13位	37,244 14位 16位	35,436 18位 18位	35,280 19位 19位	39,342 19位 19位	40,873 15位 17位	44,518 13位 14位	48,166 13位 15位	48,622 11位 13位	40,477 19位 19位	38,177 19位 20位	34,522 20位 -
イタリア (ドル) (OECD加盟国中の順位)	23,021 17位	21,780 19位	22,253 17位	21,936 19位	20,051 20位	20,399 18位	22,182 18位	27,339 19位	31,090 19位	31,837 19位	33,246 19位	37,473 18位	40,357 18位	36,675 19位	35,519 19位	37,900 20位	34,353 20位	35,130 21位	35,365 21位	29,994 21位
韓国 (ドル) (OECD加盟国中の順位)	13,138 24位	12,132 24位	8,085 26位	10,409 26位	11,948 24位	11,256 25位	12,789 25位	14,219 26位	15,922 26位	18,658 25位	20,917 24位	23,101 25位	20,475 27位	18,339 27位	22,151 25位	24,156 25位	24,454 23位	25,998 23位	27,989 23位	27,222 22位
ロシア (ドル) (OECD加盟国中の順位)	2,644 -	2,738 -	1,835 -	1,331 -	1,772 -	2,100 -	2,375 -	2,975 -	4,102 -	5,323 -	6,920 -	9,101 -	11,635 -	8,563 -	10,675 -	14,228 -	15,042 -	15,552 -	14,052 -	9,093 -
ブラジル (ドル) (OECD加盟国中の順位)	5,145 -	5,260 -	5,065 -	3,462 -	3,729 -	3,135 -	2,806 -	3,041 -	3,596 -	4,731 -	5,808 -	7,247 -	8,707 -	8,475 -	11,121 -	13,039 -	12,157 -	12,072 -	11,729 -	8,539 -
中国 (ドル) (OECD加盟国中の順位)	709 -	782 -	829 -	873 -	959 -	1,053 -	1,148 -	1,289 -	1,509 -	1,753 -	2,099 -	2,695 -	3,471 -	3,838 -	4,561 -	5,634 -	6,338 -	7,078 -	7,683 -	8,028 -
インド (ドル) (OECD加盟国中の順位)	408 -	424 -	422 -	451 -	452 -	461 -	481 -	558 -	641 -	729 -	817 -	1,018 -	992 -	1,090 -	1,346 -	1,461 -	1,447 -	1,456 -	1,577 -	1,598 -

(資料出所) 日本以外のOECD加盟国（上記のうち日本、ロシア、ブラジル、中国、インド以外の各国）：OECD “Annual National Accounts Database”

日本：経済社会総合研究所推計値

円の対ドルレートは、東京市場インターバンク直物中心相場の各月中平均値の12か月単純平均値を利用。

人口は、総務省「人口推計月報」月初人口の単純平均を利用。

中国：中国国家統計局（為替レートはIMF “International Financial Statistics”）

ロシア、ブラジル、インド：世界銀行 “World Development Indicators database”

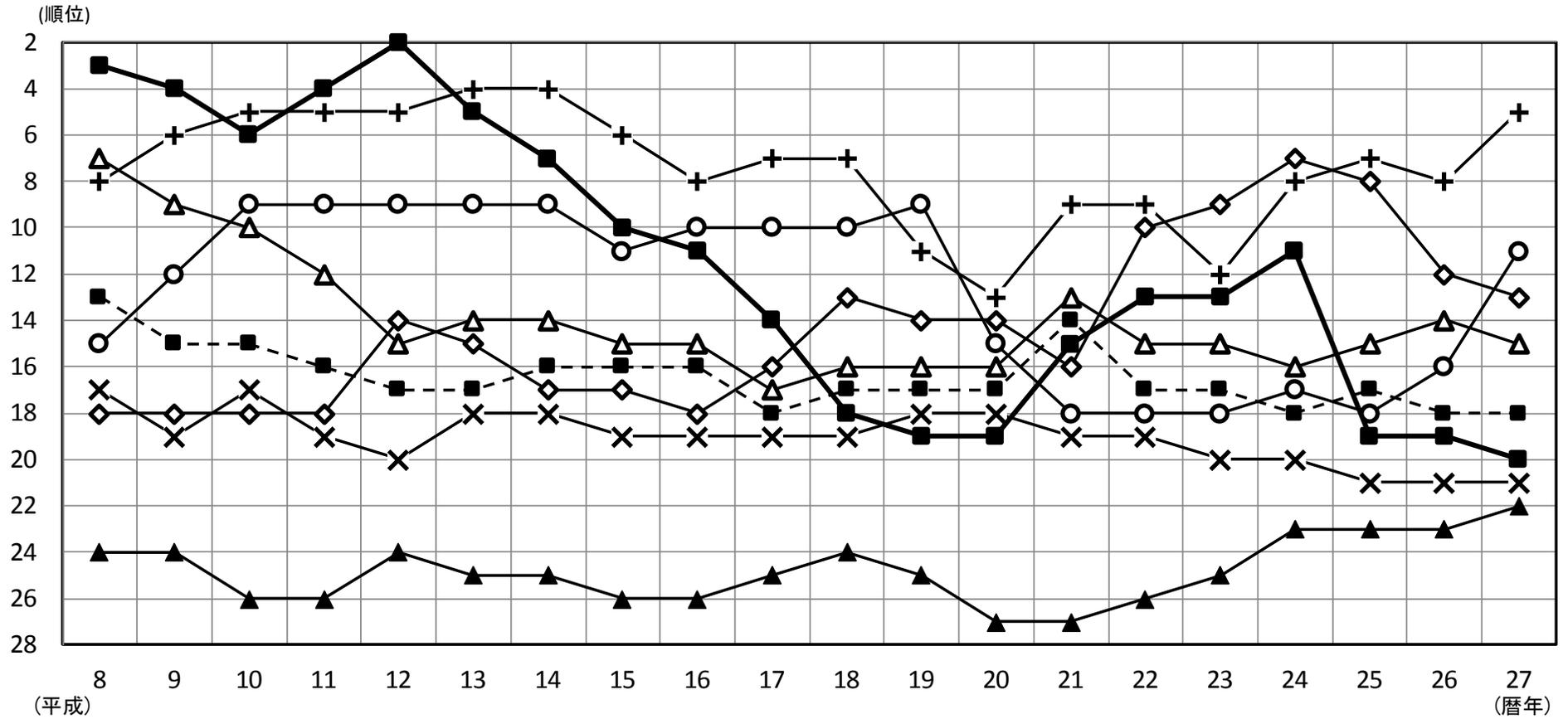
(注) 中国は香港及びマカオを含まない。

日本の「OECD加盟国中の順位、H17年基準」は平成26年度国民経済計算確報時点のもの。

(参考) 平成26（2014）暦年における、円の対米ドルレートは 105.8（円／ドル）

平成27（2015）暦年における、円の対米ドルレートは 121.0（円／ドル）

図8 主要国の一人当たり名目GDPのOECD加盟国中の順位



(参考1) OECD加盟国の2008SNA対応による影響 (対名目GDP比)

(%)

国名	対象年	国際基準対応による影響
アイスランド	2010年	1.4
アイルランド	2010年	3.6
イスラエル	2012年	2.3
イタリア	2010年	1.5
英国	2010年	2.3
エストニア	2010年	1.4
オーストラリア	2007-08年度	1.7
オーストリア	2010年	3.7
オランダ	2010年	1.7
カナダ	2010年	1.7
韓国	2010年	5.1
ギリシャ	2010年	1.3
スイス	2011年	3.5
スウェーデン	2010年	4.4
スペイン	2010年	1.6
スロバキア	2010年	1.8
スロベニア	2010年	2.0

国名	対象年	国際基準対応による影響
チェコ	2010年	3.1
デンマーク	2008年	2.7
ドイツ	2010年	2.7
日本	2011年	4.2
ニュージーランド	2010年	1.3
ノルウェー	2011年	1.7
ハンガリー	2010年	1.6
フィンランド	2010年	4.2
フランス	2010年	2.4
米国	2010年	3.1
ベルギー	2010年	2.5
ポーランド	2010年	1.2
ポルトガル	2010年	2.1
メキシコ	2008年	1.5
ルクセンブルグ	2010年	1.6
OECD単純平均	—	2.4

(資料出所) 内閣府、OECD、欧州統計局、各国統計局資料等より作成。

## (参考2) 国際比較可能性を踏まえた経済活動別分類の変更

- 生産側GDPを計測するための「経済活動別分類」について、国際比較可能性を向上させる観点から、国際標準産業分類 (ISIC Rev.4) とできる限り整合的となるよう見直し
- これにより、従前の「産業」「政府サービス生産者」「対家計民間非営利サービス生産者」の区分 (1968SNA の区分) を取り止めるとともに、サービス業が細分化

平成17年基準	平成23年基準	(参考) ISIC Rev.4 大分類
<b>1. 産業</b>	1. 農林水産業	A. 農林漁業
(1) 農林水産業	2. 鉱業	B. 鉱業及び採石業
(2) 鉱業	3. 製造業	C. 製造業
(3) 製造業	4. 電気・ガス・水道・廃棄物 処理業	D. 電気、ガス、蒸気及び空調供給業
(4) 建設業	5. 建設業	E. 水供給業、下水処理、廃棄物処理 及び浄化活動
(5) 電気・ガス・水道業	6. 卸売・小売業	F. 建設業
(6) 卸売・小売業	7. 運輸・郵便業	G. 卸売・小売業；自動車・ オートバイ修理業
(7) 金融・保険業	8. <b>宿泊・飲食サービス業</b>	H. 運輸・保管業
(8) 不動産業	9. 情報通信業	I. 宿泊・飲食業
(9) 運輸業	10. 金融・保険業	J. 情報通信業
(10) 情報通信業	11. 不動産業	K. 金融・保険業
(11) サービス業	12. <b>専門・科学技術、業務支援 サービス業</b>	L. 不動産業
<b>2. 政府サービス生産者</b>	13. 公務	M. 専門、科学及び技術サービス業
(1) 電気・ガス・水道業	14. <b>教育</b>	N. 管理・支援サービス業
(2) サービス業	15. <b>保健衛生・社会事業</b>	O. 公務及び国防、強制社会保障事業
(3) 公務	16. <b>その他のサービス業</b>	P. 教育
<b>3. 対家計民間非営利サービス生産者</b>		Q. 保健衛生及び社会事業
(1) サービス業		R. 芸術、娯楽、レクリエーション業
		S. その他のサービス業

(注1)「平成17年基準」の「産業」及び「平成23年基準」は経済活動別大分類、「平成17年基準」の「政府サービス生産者」「対家計民間非営利サービス生産者」は国民経済計算年報付表2「経済活動別の国内総生産・要素所得」における分類。

(注2)平成23年基準の経済活動別中分類、小分類は、「作成基準に基づき公表される参考資料」等を参照。

(注3)平成23年基準の国民経済計算年報付表2「経済活動別の国内総生産・要素所得」(名目)において、各経済活動別分類に含まれる一般政府、対家計民間非営利団体分を別途集計して(再掲)として計上している。

(参考3) 我が国国民経済計算における2008SNAへの対応を含む平成23年基準改定に係る経緯

年	月	経緯・公表内容
2009年	2月	国際連合統計委員会において国際基準「2008SNA」が採択
2011年	3月	「公的統計の整備に関する基本的な計画(第I期)」(統計委員会の諮問・答申を経て2009年3月閣議決定)を踏まえ、内閣府の基本計画に関する工程表で平成17年基準改定の次の基準改定で2008SNAに対応する方針を公表
	12月	国民経済計算の「平成17年基準改定」実施
2012年	1月	「平成23年基準改定」に係る内閣府経済社会総合研究所における検討開始
2013年	3月	内閣府「国民経済計算次回基準改定に関する研究会」設置、具体的な方針の検討(～2014年7月) ※10回にわたる検討資料・議事要旨を公表
2014年	3月	「公的統計の整備に関する基本的な計画(第II期)」(統計委員会の諮問・答申を経て2014年3月に閣議決定)で平成28年度中の2008SNA移行を決定
	9月	統計委員会に「国民経済計算の作成基準の変更」諮問
	10月～	統計委員会国民経済計算部会における審議(～2015年3月) ※5回にわたる審議資料・議事要旨等を公表
2015年	3月	統計委員会より「国民経済計算の作成基準の変更」答申
	12月	「次回基準改定及び2008SNAへの対応に向けた今後の予定等」を公表
2016年	6月～	関係学会、大学、民間エコノミスト等への平成23年基準改定に係る説明会を実施(～2016年10月)
	9月	「国民経済計算の平成23年基準改定に向けて」(基準年(2011暦年)の名目GDP水準試算を含む基準改定における変更内容の概要)を公表
	11月	「国民経済計算の作成基準」告示、「国民経済計算の作成方法」公表、「推計手法解説書(四半期別GDP速報(QE)編)」等を公表
	12月8日	平成27年度国民経済計算年次推計(支出側系列等)、平成28年7-9月期GDP速報(2次速報値)を公表
	12月22日	平成27年度国民経済計算年次推計(フロー編)を公表

(注) 統計法第6条では、国民経済計算について、「国際連合の定める国民経済計算の体系に関する基準に準拠」するものと規定されている。